ユーザーズガイド

スマートフォンリンク アプリケーションコントロールメインユニット

SPH-DA09 Ⅱ

スマートフォンリンク アプリケーションコントロールメインユニット

SPH-DA05 Ⅱ

はじめに

基本操作

アプリケーション

ラジオ

交通情報

テレビ

音楽ディスク

映像ディスク

iPod

ハンズフリー

バックカメラ

オーディオ設定

システム設定

Bluetooth設定

付　録

carrozzeria

目次

はじめに

本書の見かた 5
- 本書の表記のしかた 5

基本操作

基本操作 6
- ボタン操作 6
- タッチ操作 6
- フリック操作 7
- リスト操作 7
- 走行中に制限される機能について 7

HOMEメニューの操作 8
- HOMEメニューを表示する 8

コントロールバーの操作 12
- MIX機能について 12

時計／カレンダーを調整する 14

アプリケーション

アプリケーションを使う 15
- アプリケーションを使うための準備 15
- アプリケーションを使う 18

ラジオ

ラジオを聞く 21
- バンドを切り換える 21
- 放送局を登録する 21

交通情報

交通情報を聞く 23

テレビ

テレビを見る ＜SPH-DA09Ⅱのみ＞ 24
- バンドを切り換える 25
- 放送局を登録する 26
- 番組表を見る 26
- 番組内容を見る 28
- 番組情報を取得する 28
- データ放送を見る 28
- データ放送画面の操作のしかた 29
- 字幕を切り換える 29
- 音声を切り換える 30
- 音声多重を切り換える 30
- 映像を切り換える 30
- ワイドモードを設定する 30
- お知らせメッセージを表示する 31
- バージョン情報を表示する 31
- サービスリストから チャンネルを選ぶ 32
- サービスを切り換える 32

テレビの機能設定をする ＜SPH-DA09Ⅱのみ＞ 33
- 12セグ・ワンセグ切換設定 34
- シンク切換設定 34
- オート放送局サーチ設定 34
- 文字スーパー表示設定 34
- イベントリレー設定 34
- 緊急警報放送設定 35
- 地域設定 35
- 郵便番号設定 35
- 番組名称情報取得設定 36
- 視聴者設定クリア 36
- 番組表表示設定 36
- 4チューナー設定 36

音楽ディスク

音楽CDを聴く ＜SPH-DA09Ⅱのみ＞ 37
- 聴きたい曲を探す 37
- タイムバーサーチ再生 38
- リピート再生 38
- ランダム再生 38
- サウンドレトリバーを切り換える 38

ROM（WMA/MP3/AAC）を聴く ＜SPH-DA09Ⅱのみ＞ 39
- 聴きたい曲を探す 40
- タイムバーサーチ再生 40
- リピート再生 40
- ランダム再生 40
- サウンドレトリバーを切り換える 41

映像ディスク

DVDビデオを見る
<SPH-DA09Ⅱのみ> 42
ダイレクトサーチ 43
ディスクメニューの操作
（ダイレクトタッチ） 43
ワイドモードを設定する 44
コマ送り再生 44
スロー再生 45
リピート再生 45
リターン再生 45
タイムバーサーチ再生 45
音声言語の切り換え 46
音声出力の切り換え 46
字幕言語の切り換え 46
アングルの切り換え 46
ブックマークの登録 47
DVD-VRを見る <SPH-DA09Ⅱのみ> 48
リストからタイトルを選んで
再生する 49
ワイドモードを設定する 49
コマ送り再生 50
スロー再生 50
リピート再生 50
タイムバーサーチ再生 51
音声言語の切り換え 51
音声出力の切り換え 51
字幕言語の切り換え 51
DVDの機能設定をする
<SPH-DA09Ⅱのみ> 52
基本字幕 52
基本音声 53
メニュー言語 53
マルチアングル 53
テレビアスペクト 53
視聴制限レベル 54
オートプレイ 54
言語コード表 55

iPod

iPodを使う 56
聴きたい曲や見たい映像を探す 57
ワイドモードを設定する
（ビデオのみ） 58
リピート再生 59
シャッフル再生 59
タイムバーサーチ再生 59
オーディオブックの再生スピードを
設定する（ミュージックのみ） 59

ハンズフリー

ハンズフリー通話をする 60
ハンズフリーでエコー（残響音）が
気になるときは 60
電話の受けかた 60
電話のかけかた 61
通話中メニューの操作 63

バックカメラ

バックカメラを使う 64
バックカメラの映像を表示する 64

オーディオ設定

オーディオ設定をする 65
Fader ／ Balance設定 65
Balance設定 66
Graphic EQ設定 66
Loudness設定 67
Subwoofer設定 67
Bass Booster設定 68
High Pass Filter設定 69
Source Level Adjuster設定 69

システム設定

システム設定をする 70
HDMI接続機器設定をする 71
リアスピーカー設定をする 71
タイトルスクロール設定をする 71
Bluetoothメモリクリア 71

カメラ極性設定をする 72
カメラの映像信号を設定する 72
画質調整をする 72
MIX音声レベル設定をする 73
時刻表示設定をする 73
壁紙設定をする 73
システムリセットをする 73
取り付け状態を確認する 74
センサー学習状況を確認する 74
放送局表示を選ぶ 75

Bluetooth設定

Bluetooth設定をする 76
本機と接続可能な
スマートフォンについて 76
Bluetooth接続できないときは 76
Bluetooth設定メニューを
表示する 76
スマートフォンを登録する 77
スマートフォンを切り換える 79
スマートフォンを削除する 79
自動接続を設定する 79
自機検出を設定する 79
パスキーを設定する 80
自機情報を表示する 80
Bluetooth設定の流れ 81

付録

再生できるディスクの種類
＜SPH-DA09Ⅱ＞ 82
DVDに表示されている
マークの意味 83
ディスクの操作について 83
ディスクの構成について
＜SPH-DA09Ⅱ＞ 84
DVDビデオ 84
CD 84
WMA/MP3/AACファイルについて
＜SPH-DA09Ⅱ＞ 85
フォルダーとWMA/MP3/AACファイ
ルについて 85
WMAとは？ 85
MP3とは？ 86
AACとは？ 87
故障かな？と思ったら 88
共通項目 88
ラジオ 89
テレビ ＜SPH-DA09Ⅱ＞ 90
CD/ROM（WMA/MP3/AAC）
＜SPH-DA09Ⅱ＞ 91
DVD-V/VR ＜SPH-DA09Ⅱ＞ 92
iPod 93
ハンズフリー 93
エラーメッセージと対処方法 94
共通項目 94
テレビ 94
索引 95
用語索引 95

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
!	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
(メモアイコン)	メモ 操作する上でのヒントや便利な使いかたなどについて説明します。
×	タッチキーを表します。 例：× にタッチする
(ボタン)	本体についているボタンを表します。 例：(ボタン)ボタンを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：*→「基本操作」(P6)*
長く押す／ 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す（タッチする）ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押している（タッチしている）間だけ動作していることを示します。

メモ

- 本書では、iPod、iPhoneを総称して「iPod」と表記する場合があります。
- 本書では、「SPH-DA09 II」の画面を例に説明しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

基本操作

本機の基本的な操作方法について説明します。

ボタン操作

本体のボタンを使用して行える操作です。

⏏ **(イジェクト)ボタン** (SPH-DA09Ⅱのみ)	B-CASカードやディスクの出し入れ、モニターの角度調整などができます。長く押すと、モニターが開きます。
−／＋ **(音量調整)ボタン**	オーディオの音量を調整できます。
(HOME)ボタン	HOMEメニューを表示します。*(→P8)* また、続けて2回押すと、再生中のAVソースを操作できるコントロールバー*(→P12)*を表示できます。
(メニュー)ボタン	Android™ OS搭載スマートフォン(以降Android)接続時、操作画面で利用できるメニューを表示します。
(バック)ボタン	Android接続時、1つ前の画面に戻ります。

- Android接続時以外では、(メニュー)ボタンと(バック)ボタンは機能しません。

タッチ操作

画面上に表示されるマークや項目(操作タッチキー)に直接指でタッチして行える操作です。

←	現在開いているメニューなどの画面から、1つ前の画面に戻ります。
✕	現在開いているメニューなどを終了して、元の画面またはHOMEメニューに戻ります。

メモ

- タッチキーの表示が薄くなっている場合は、選択できないことを意味しています。
- その他のタッチキーについては、各機能の説明ページをご覧ください。

フリック操作

画面に触れた指を上下左右に払うように操作することで、ページの切り換えやリストの移動などが行えます。

ページマーク
切り換え可能なページが複数ある場合に表示され、現在のページ位置を白丸で示します。

リスト操作

操作中に表示されるリスト画面の操作について説明します。

タブ選択	タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り換わります。
リスト項目	目的の項目を選んでタッチします。
∧／∨	1画面ずつページ送りします。タッチし続けると、連続してページを送ります。
リストバー	リスト項目量の目安とリストの現在位置を示します。バーにタッチしたまま上下にスライドすると、スライドした位置のリストが表示されます。

走行中に制限される機能について

本機は、安全のため走行中のメニュー操作を制限したり、映像が見れないように設計されています。（例：走行中に映像を見ようとすると、以下のメッセージが表示されます。）

メニュー操作や映像視聴などは、安全な場所に車を止めて、パーキングブレーキをかけてから行ってください。

HOMEメニューの操作

HOMEメニューを表示することで、本機のいろいろな機能を使うことができます。

HOMEメニューを表示する

HOMEメニューは、２ページに分かれています。

1 [ ] ボタンを押す

▼

HOMEメニュー（ページ１）が表示されます。

時計/カレンダー

時計／カレンダー	タッチすると、時計とカレンダーの調整画面が表示されます。（→P14）
[車アイコン]	幹線道路などで放送されているAMの交通情報を受信できます。（→P23）
[カメラアイコン]	別売のバックカメラユニットの映像が表示されます（リアビューモード）。（→P64）
[電話アイコン]	Bluetooth接続メニューやハンズフリーメニューが表示されます。（→P60,76）
Disc（SPH-DA09IIのみ）	音楽CDや楽曲を記録したディスク、DVDビデオなどの映像ディスクを再生できます。（→P37,39,42,48）
DTV（SPH-DA09IIのみ）	地上デジタルテレビ放送を視聴できます。（→P24）
アプリ	接続したスマートフォンのアプリケーションを、本機で表示・操作できます。（→P15）
iPod	接続したiPodの音楽や映像を再生できます。（→P56）
FM／AM	FM/AMラジオ放送を受信できます。（→P21）

メモ

- 機器を接続していなかったり、再生の準備ができていない機能は選択できません。
- iPod はHDMI接続機器設定が「iPhone」の場合、選択できません。（→P71）
- アプリ のアイコンは、接続するスマートフォン（iPhone/Android）によって変化します。

2 左にフリックする

▼

HOMEメニュー（ページ2）が表示されます。
ページ１に戻るときは右にフリックしてください。

設定	本機に関する各種設定や状態確認を行うことができます。（→P9）
OFF	交通情報、Disc、DTV、iPod、FM/AMをOFFにします。
映像OFF	一時的に画面を消すことができます。画面にタッチすると、元の画面に戻ります。

設定メニュー

オーディオ設定

ビデオ設定

カスタムメニュー登録済みマーク

設定項目

カスタムメニュー

よく使う設定項目として登録したリストを表示できます。各設定項目を、カスタムメニュー登録済みマーク（★）が点灯するまで長く押すことで登録できます。登録を解除する場合は、カスタムメニュー登録済みマーク（★）が消灯するまで長く押します。

システム設定

ビデオ設定< SPH-DA09 Ⅱのみ>

DVDの再生条件を設定できます。

基本字幕	優先して表示させたい字幕の言語を設定できます。（→P52）
基本音声	優先して聞きたい音声の言語を設定できます。（→P53）
メニュー言語	ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定できます。（→P53）
マルチアングル	マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示／非表示を設定できます。（→P53）
テレビアスペクト	テレビアスペクト（画面の縦横比）を設定できます。（→P53）
視聴制限レベル	視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴を制限できます。（→P54）
DVD オートプレイ	DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定できます。（→P54）

オーディオ設定

オーディオの音質設定ができます。

Fader ／ Balance（リアスピーカー設定で「フルレンジ」選択時）	前後左右の音量バランスを設定できます。（→P65）
Balance（リアスピーカー設定で「サブウーファー」選択時）	左右の音量バランスを設定できます。（→P66）
Graphic EQ	あらかじめ用意された5つの設定とお好みで調節した設定からイコライザーカーブを選ぶことができます。（→P66）

Loudness	小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にできます。(→P67)
Subwoofer	サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。(→P67)
Bass Booster	サブウーファーから出力される低音域の増強効果を設定できます。(→P68)
High Pass Filter	選んだ周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。(→P69)
Source Level Adjuster	Disc、DTV、iPod、FM/AMを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして音量の差をそろえることができます。(→P69)

システム設定

本機の動作設定ができます。また、各種情報を確認できます。

HDMI接続機器設定	スマートフォンの種類に合わせて、接続方法を設定できます。(→P71)
リアスピーカー設定	接続するリアスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法が設定できます。(→P71)
タイトルスクロール	Disc、iPodのリスト画面を表示したときに、タイトルスクロール機能を常時または1回のどちらかに設定できます。(→P71)
Bluetooth メモリクリア	Bluetooth設定の内容を消去できます。(→P71)
Bluetooth ソフトウェア アップデート	Bluetoothソフトウェアをアップデートする際に使用します。
Bluetooth バージョン情報	Bluetoothのバージョン情報を表示できます。
カメラ極性設定	別売のバックカメラユニット接続時に、車の後方の映像を表示できるように設定できます。(→P72)
映像信号設定	バックカメラの映像信号を設定できます。(→P72)
画質調整	周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて画質を調整できます。(→P72)
MIX音声レベル	アプリ(→P15)の音声と、Disc、DTV、iPod、FM/AMの音声を同時に出力(MIX音声)する際のアプリの音量を設定できます。(→P73)
時計表示	HOMEメニューの時計/カレンダーを12時間表示または24時間表示のどちらかに設定できます。(→P73)
壁紙	HOMEメニュー画面などの背景を設定できます。(→P73)
システムリセット	設定した内容を消去して、工場出荷時の状態に戻すことができます。(→P73)
取り付け状態	GPSアンテナの接続状態や受信感度と測位状態、取り付け位置の確認や車速パルス、電源電圧、バック信号の状態などが表示できます。(→P74)
センサー学習状況	センサーの学習状況を確認できます。(→P74)

放送局選択	同じ周波数でも、地域により受信する放送局が違うことがあります。本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なる場合は、放送局名を変更できます。*(→P75)* ラジオ放送受信時以外は選択できません。
DTV設定 (SPH-DA09Ⅱのみ)	地上デジタルテレビ放送に関する機能を設定できます。*(→P33)* 地上デジタルテレビ放送視聴時以外は選択できません。

コントロールバーの操作

コントロールバーとは、映像OFFやAVソースの一部操作、※1 消音機能やMIX機能などよく使うタッチキーを画面下部に表示※2して、使用することができる機能です。

※1 表示されるタッチキーは、使用中のAVソースによって異なります。
※2 設定メニューなど、一部表示対象外の画面もあります。

1 [ ] **ボタンを続けて2回押す**

▼

例：FM

コントロールバー

[映像OFFキー]	一時的に画面を消します。（映像OFF）	
< / >	交通情報、FM/AM、DTV	放送局を選びます。
	Disc、iPod	曲または映像を選びます。
FM1 / FM2 / AM1 / AM2（FM/AMのみ）	バンドを切り換えます。	
DTV1 / DTV2（DTVのみ）	バンドを切り換えます。	
▶/II（Disc、iPodのみ）	一時停止をします。一時停止中にもう一度タッチすると、再生を再開します。	
MIX	アプリの音声と、Disc、DTV、iPod、FM/AM、交通情報の音声を同時に出力できます。（→P12）	
[ミュートキー]	音声をミュート（消音）します。もう一度タッチすると、ミュートを解除します。	

メモ

- MIX は、スマートフォン未接続時またはHOMEメニュー（ページ2）で OFF にタッチした直後では選択できません。
- コントロールバーを消すときは、画面にタッチするか、[ ]ボタンを押します。

MIX機能について

MIX機能を使うと、画面表示がアプリ（例：ナビアプリ）の状態でも、Disc、DTV、iPod、FM/AM、交通情報の音声を出力できます。

メモ

- アプリとの同時出力が可能な音声は、1つまでです。
- iPhoneをご使用の場合、MIX機能でiPodを選択することはできません。

MIX機能で出力する音声を選ぶ

1 アプリを選択する

→「アプリケーションを使う」（P15）

2 コントロールバーを表示し、MIX にタッチする

3 アプリと同時出力する音声を選んでタッチする

アプリが選択されている状態であれば、HOMEメニュー画面などからも同様の操作が可能です。

▼

選んだ音声がアプリと同時出力されます。

メモ

- MIX音声の音量は調整できます。→*「MIX音声レベル設定をする」(P73)*
- MIX機能がONされている場合 *(P13)*、本機の⊖／⊕ボタンは選択されているAVソース(FM/AM、DTV、DVD)の音量調整となります。

MIX機能をON/OFFする

1 Disc ／ DTV ／ iPod ／ FM/AM ／交通情報のいずれかを選択する

→*「HOMEメニューを表示する」(P8)*

2 コントロールバーを表示し、MIX にタッチする

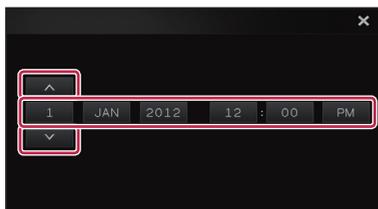
▼

タッチするごとに、MIX機能の **ON** ↔ **OFF** が切り換わります。

時計／カレンダーを調整する

現在時刻とカレンダーを調整できます。

1 ボタンを押し、時計／カレンダー部分にタッチする

2 年月日、時刻の各項目にタッチし、∧または∨で調整する

メモ

- 時計は、12時間表示または24時間表示のどちらかに設定ができます。→ *「時刻表示設定をする」(P73)*

アプリケーションを使う

本機にスマートフォンを接続することにより、スマートフォンにインストールされているアプリケーションを本機の画面に表示できます。
また、本機対応のアプリケーションの場合は、本機でアプリケーションを操作することもできます。

メモ

- スマートフォンやアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- 本機は、ドコモスマートフォン（Android）とiPhone（ソフトバンク/au）に対応しています。
  最新の対応機種は、カロッツェリアホームページをご覧ください。
  （http://pioneer.jp/carrozzeria/support/splink/）

アプリケーションを使うための準備

アプリケーションを使うためには、お使いのスマートフォンに応じた各種準備が必要です。

iPhone 4/iPhone 4Sをお使いの場合

1 システム設定のHDMI接続機器設定で「Android」を選ぶ（→P71）

2 別売のiPhone/iPod用接続ケーブル「CD-IUV220」を用意する

3 App Storeから本機専用アプリケーション『Linkwith』をダウンロードし、iPhoneにインストールする

4 iPhoneを操作して『Linkwith』を起動する

5 別売のケーブルを使って、iPhoneを本機に接続する
→付属の『取付説明書』

本機との通信許可を求めるメッセージがiPhoneの画面に表示された場合は、「許可」をタップしてください。

メモ

- 『Linkwith』がインストールされていないiPhoneやロック状態のiPhoneを接続した場合は、以下の画面が表示されます。

『Linkwith』のインストールまたはロック解除を行ってから再接続してください。（**無視** にタッチした場合、アプリケーションは使えません。）

iPhone 5をお使いの場合

1 システム設定のHDMI接続機器設定で「iPhone」を選ぶ（→P71）

メモ

- HDMI接続機器設定を「iPhone」に設定すると、iPodソースは使用できません。

2 別売のHDMIケーブル「CD-HM020」、別売のUSB変換ケーブル「CD-U220」、Apple Inc.製のLightning - Digital AVアダプタ、お手持ちのiPhone/iPodに同梱のLightning - USBケーブルを用意する

3 App Storeから本機専用アプリケーション『Linkwith』をダウンロードし、iPhoneにインストールする

4 iPhoneを操作して『Linkwith』を起動する

5 Bluetooth接続を行う

Bluetooth接続は、本機またはiPhoneのどちらからでも行えます。

本機からの方法について

HOMEメニューから、 ー ー 機器登録／削除 の順にタッチします。

iPhoneのBluetooth設定をONにし、iPhoneを検出可能状態にしたら、 にタッチします。

お使いのiPhoneが本機の画面にリスト表示されたら、タッチします。
本機とiPhoneに登録の確認を求める画面が表示されたら、iPhoneを操作してペアリングを行います。
その後、自動的に本機とiPhone間でBluetooth接続が行われます。

メモ

• Bluetooth接続が完了したかどうかは、本機の各アイコンの状態で確認することもできます。
　ー HOMEメニューのアプリアイコンの場合
　　（HDMI接続されている必要があります。）

	接続待機
	接続中
	接続完了

　ー 機器登録／削除画面のアイコンの場合

	ハンズフリーのみ使用可能状態
	ハンズフリーおよびアプリケーション使用可能状態

iPhone からの方法について

Bluetooth設定をONにし、本機が検出されたらタップしてペアリングをします。
ペアリングが成功すると、自動的にiPhoneと本機間でBluetooth接続が行われます。
接続状況の確認のしかたなどについては、本機から行う場合と同じです。

メモ

• iPhoneから本機が検出できない場合は、本機の検出状態をご確認ください。→*「自機検出を設定する」(P79)*

6 別売のケーブルを使って、iPhoneを本機に接続する →付属の『取付説明書』

本機との通信許可を求めるメッセージがiPhoneの画面に表示された場合は、「許可」をタップしてください。

メモ

• iPhoneにLinkwithアプリケーションがインストールされていることを確認してください。
• iPhoneがロックされている場合は、車を停めてロックを解除しBluetoothの再接続をしてください。

Androidをお使いの場合

1 システム設定のHDMI接続機器設定で「Android」を選ぶ（→P71）

2 別売のAndroid（HDMI）用接続ケーブルセット「CD-HUV220」または別売のAndroid（MHL）用接続ケーブルセット「CD-MUV220」を用意する

※お使いのAndroidの仕様をお確かめの上、ご用意ください。

3 Google Playから本機専用アプリケーション『Linkwith』をダウンロードし、Androidにインストールする

メモ

- 『Linkwith』対応アプリケーション（ナビなど）で文字入力を行うには、『Linkwithキーボード Powered by ATOK』もインストールしてください。

4 Androidを操作して『Linkwith』を起動する

5 Bluetooth接続を行う

Bluetooth接続は、本機またはAndroidのどちらからでも行えます。

本機からの方法について

HOMEメニューから、［電話］－［設定］－ 機器登録／削除 の順にタッチします。

AndroidのBluetooth設定をONにし、Androidを検出可能状態にしたら、［検索］にタッチします。

例：

メモ

- AndroidのBluetooth設定画面は、『Linkwith』の「設定／ヘルプ」－「Bluetooth接続マニュアル」－「Bluetooth設定画面を開く」の操作で表示させることもできます。

お使いのAndroidが本機の画面にリスト表示されたら、タッチします。

本機とAndroidに以下画面が表示されたら、Androidを操作してペアリングを行います。

ペアリングが成功すると、本機の画面に「登録が完了しました。」と表示されます。

引き続き、Androidの画面に電話帳へのアクセス許可を求めるメッセージが表示されます。用途に応じて設定してください。

注：メッセージがステータスバーにのみ表示されることがあります。ステータスバーを下にドラッグし、通知パネル開いて操作してください。

本機への接続許可を求めるメッセージが表示されたら、接続を許可します。

アプリケーション

その後、自動的に本機とAndroid間でBluetooth接続が行われます。
Bluetooth接続完了までは、約30秒から1分程度かかります。
接続状況は、ステータスバーに表示されるアイコンで確認できます。

（未接続）→（接続待機）→（接続中）→（接続完了）

メモ

- 接続状況をステータスバーに表示する・しないは、『Linkwith』の「設定／ヘルプ」から変更できます。
- Bluetooth接続が完了したかどうかは、本機の各アイコンの状態で確認することもできます。
  － HOMEメニューのアプリアイコンの場合（HDMI接続されている必要があります。）

	接続待機
	接続中
	接続完了

  － 機器登録／削除画面のアイコンの場合

	ハンズフリーのみ使用可能状態
	ハンズフリーおよびアプリケーション使用可能状態

Android からの方法について

Bluetooth設定をONにし、本機が検出されたらタップしてペアリングをします。

例：

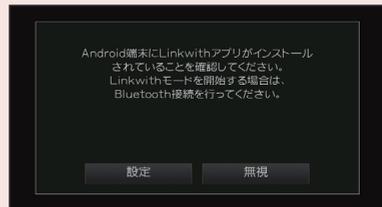
ペアリングが成功すると、自動的にAndroidと本機間でBluetooth接続が行われます。
接続状況の確認のしかたなどについては、本機から行う場合と同じです。

メモ

- AndroidのBluetooth設定画面は、『Linkwith』の「設定／ヘルプ」－「Bluetooth接続マニュアル」－「Bluetooth設定画面を開く」の操作で表示させることもできます。
- Androidから本機が検出できない場合は、本機の検出状態をご確認ください。→「自機検出を設定する」（P79）

6 別売のケーブルを使って、Androidを本機に接続する →付属の『取付説明書』

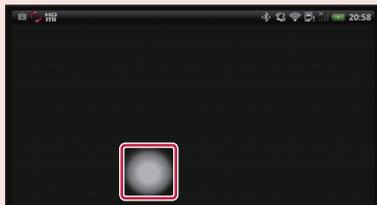
メモ

- 『Linkwith』がインストールされていないAndroidやBluetooth設定を行っていないAndroidを接続した場合は、以下の画面が表示されます。

設定 にタッチするとBluetooth設定を開始します。→「Bluetooth設定をする」－「スマートフォンを登録する」（P77）
本機でアプリケーションを操作する必要がない場合は、**無視** にタッチしてください。その後画面にタッチすると、最後に接続したAndroidとの再接続が行われます。（接続状況は表示されません。）

アプリケーションを使う

1 [⠿]ボタンを押し、**アプリ** にタッチする

メモ

- スマートフォンをHDMIで接続してアプリケーションを使う場合は、Bluetooth接続はHDMI接続されたスマートフォンに対して正しく行ってください。指定以外の接続を行った場合、機能が正しく動作しません。
- Bluetooth接続完了後、はじめて本機に接続するAndroidの場合は、**アプリ** にタッチした後、本機との認証操作が必要になります。以下の画面が表示されたら、白丸部分を順番にタッチしてください。

認証が完了するとメッセージが表示され、アプリケーションをお使いいただくことができます。
この認証操作は、一度だけ必要になります。一度行った後は、スマートフォンの登録を削除・再接続しても表示されません。ただし、『Linkwith』をインストールし直した状態で本機に接続した場合は、再表示されます。

2 使いたいアプリケーションにタッチする

▼

アプリケーションが起動します。

以降、操作の詳細はアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

メモ

- 「アプリリスト」にタッチすると、本機対応のアプリケーションをインストールすることができます。
- Androidをお使いの場合、アプリケーション（プレーヤー等）の音量はAndroidおよび本機のどちらからでも調整できます。ただし、Androidで調整を行った場合は、本機との接続を解除した後も調整結果が残るため、意図せず音量が上がっている場合があります。ヘッドフォン等で音楽を聴く場合などは、事前にAndroidの音量を確認してください。
- 使いたいアプリケーションを変更する場合は、[⠿] ボタンを押して手順2の画面に戻ってください。手順2の画面で再度 [⠿] ボタンを押すと、HOMEメニューに戻ります。
- 本機対応アプリケーション以外については、スマートフォンに表示された内容が本機の画面に映し出されるだけで、本機から操作することはできません。
- 本機を使い始める時点で、スマートフォンのアプリ（『Linkwith』など本機専用アプリケーション）が起動状態の場合は、自動的に本機の「アプリ」が動作します。スマートフォンのアプリが起動中でない場合は、最後に使用していた機能（iPodやFM/AMなど）が動作します。

入力方法を設定する（Androidのみ）

Androidをお使いの場合、『Linkwith』対応アプリケーション（ナビなど）で文字入力を行うには、『Linkwithキーボード Powered by ATOK』のインストールと入力切り替え操作が必要です。

1 Google Playから『Linkwithキーボード Powerd by ATOK』をダウンロードし、Androidにインストールする

2 Androidの入力方法設定画面を開き、『LinkwithキーボードPowerd by ATOK』をタップする

『LinkwithキーボードPowerd by ATOK』にチェックマークが表示されたことを確認してください。

3 [⠿]ボタンを押し、アプリにタッチする

4 以下の画面が表示されたら[≡]ボタンを押し、キーボード切り替え－OKにタッチする

5 Androidを操作して、『LinkwithキーボードPowerd by ATOK』をタップする

メモ

- Androidを本機に接続していない場合は、『Linkwith』の「設定／ヘルプ」－「キーボード切り替え」からも入力切り替え操作ができます。
- 一度入力切り替えを行うと、本機とAndroidの接続を解除しても入力方法は変更されません。この場合、Android単体の操作（メール作成など）においては、文字入力ができません。Androidを操作して、元の入力方法に戻してください。

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

1 [⊞]ボタンを押し、FM／AMにタッチする

▼

ラジオ受信画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

プリセットリスト

FM1 / AM1	バンドを切り換えます。*(→P21)*
プリセットリスト	リスト項目にタッチすると、その放送局を受信します。長くタッチすると、現在受信中の放送局をタッチした項目に上書き登録します。
BSM	受信状態の良い放送局を自動的に探してプリセットリストに登録します。*(→P21)*
< / >	周波数を順に送ります。長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)

メモ

- 本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。画面に表示されている放送局名と受信している放送局名が異なる場合は、放送局名を変更できます。*→「放送局表示を選ぶ」(P75)*
- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。

バンドを切り換える

本機ではFM／AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットリストを使い分けることができます。

1 FM1 または AM1 にタッチする(→P21)

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

FM1 ↔ FM2
AM1 ↔ AM2

メモ

- ふだんはFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を登録する

放送局をプリセットリストに登録します。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を探して、プリセットリストに自動的に登録します。

1 BSM にタッチする(→P21)

▼

キャンセルにタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、プリセットリストに放送局が登録されます。

メモ

- 受信状態の良い放送局が6局以下の場合は、以前に登録した放送局が残ることがあります。

放送局を手動で登録する

各バンドごとに6局まで、手動で登録できます。

1 < ／ > にタッチして、登録したい放送局（周波数）を選ぶ（→ P21）

2 登録したいプリセットリスト項目に2秒以上タッチする

▼

現在受信中の放送局（周波数）が、選んだプリセットリスト項目に登録されます。

交通情報を聞く

交通情報の受信のしかたを説明します。

1 [⊞]ボタンを押し、[車]にタッチする

▼

交通情報画面が表示され、前回受信していた周波数の交通情報を受信します。

1620kHz	1 620 kHzを受信します。
1629kHz	1 629 kHzを受信します。

交通情報

テレビを見る ＜SPH-DA09 II のみ＞

テレビの視聴のしかたを説明します。

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

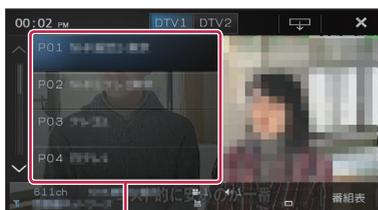
メモ

- ご購入後、初めて本機能を利用される場合は、B-CASカードの装着や、チャンネルスキャンの実行といった準備作業が必要になります。詳しくは付属の『**取扱説明書**』をご覧ください。
  また、以下の場合においても、チャンネルスキャン操作が必要になります。
  – バッテリーを外したとき
  – 視聴者設定クリア（→*P36*）をしたとき

1 **［ ］ボタンを押し、DTV にタッチする**

テレビ画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

2 **画面にタッチする**

操作タッチキーが表示されます。

リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
DTV1 / DTV2	バンドを切り換えます。（→*P25*）
［コントロールパネル表示キー］	コントロールパネルを表示します。（→*P24*） コントロールパネル表示中は［ ］が表示され、タッチするとコントロールパネルが閉じます。
×	操作タッチキーを消します。
番組表	番組表を表示します。（→*P26*）

アイコン一覧

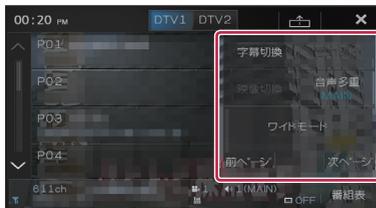
	複数の映像あり
	複数の音声あり
	複数の字幕あり
	HDTV（ハイビジョン放送）
	SDTV（標準画質放送）
	ワンセグ（1セグメント放送）
	データ連動放送
	サラウンド放送
	2カ国語放送
	マルチ編成
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能
	マルチビュー放送
	アンテナ受信感度
	未読のお知らせメッセージあり

コントロールパネルを表示する

1 **［ ］にタッチする（→P24）**

コントロールパネル（ページ 1）

番組内容	番組内容を表示します。(→P28)
番組情報取得	番組情報を取得します。(→P28)
スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(→P26)
◀/▶	3桁チャンネルを順に送ります。 長くタッチすると、物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
◀▲▼▶	データ放送などを操作できるダイレクトタッチキーを表示できます。(→P29)
d	データ放送画面に切り換えます。(→P28)
次ページ	コントロールパネル(ページ2)を表示します。

コントロールパネル(ページ2)

字幕切換	複数の字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→P29)
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→P30)
映像切換	番組に複数の映像(マルチビュー)がある場合、映像を切り換えます。(→P30)
音声多重	音声多重放送の場合、MAIN、SUB、MAIN＋SUBを切り換えます。(→P30)
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P30)
前ページ	コントロールパネル(ページ1)を表示します。
次ページ	コントロールパネル(ページ3)を表示します。

コントロールパネル(ページ3)

お知らせメッセージ	本機に送られてきたメッセージを表示します。(→P31)
バージョン情報	本機のソフトウェアのバージョンや、B-CASカードなどの情報を表示します。(→P31)
サービスリスト	サービスリストを表示します。(→P32)
サービス切換	同じ放送局内のサービスを切り換えます。(→P32)
前ページ	コントロールパネル(ページ2)を表示します。

バンドを切り換える

本機では2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー(P01～P12)を使い分けることができます。

1 DTV1 または DTV2 にタッチする(→P24)

▼

タッチしたバンドに切り換わります。

メモ

- ふだんはDTV1を使用し、旅行先ではDTV2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

テレビ

放送局を登録する

放送局をプリセットメモリーに登録します。

放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）

受信状態の良い放送局を探してプリセットメモリーに自動的に登録できます。

1 スキャン に2秒以上タッチする（→P25）

▼

中止 にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、プリセットメモリーに放送局が登録されます。

メモ

- 受信状態の良い放送局が12局以下の場合は、以前に登録した放送局が残ることがあります。

放送局を手動で登録する

バンドごとに各12局まで、手動で登録できます。

1 ◀／▶ にタッチして、登録したい放送局を選ぶ（→P25）

2 プリセットメモリーに登録したい枠を2秒以上タッチする

▼

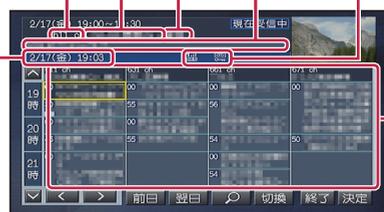
現在受信中の放送局が、選んだプリセットメモリーに登録されます。

番組表を見る

本機が取得したチャンネルの、最大1週間先までの電子番組表（EPG）を表示できます。

1 番組表 にタッチする（→P24）

▼

番組表が表示されます。

∧/∨/</>	番組表の各項目にカーソルを移動します。
前日	前日の番組表を表示します。
翌日	翌日の番組表を表示します。
🔍	ジャンル検索画面が表示されます。ジャンルを選んで、見たい番組を検索し、視聴します。*（→P27）*

切換	タッチするごとに、以下のように表示方法が切り換わります。 **4チャンネル分 →7チャンネル分 → 1チャンネル分** →4チャンネル分に戻る
終了	通常の視聴画面に戻ります。
決定 または 番組表	現在放送中の番組であれば、選んだ番組を視聴します。 現在放送中の番組でなければ、選択された番組の番組内容画面を表示します。

メモ

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- **終了** にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。
- 番組情報取得の操作 *(→P28)* を行っていない場合、現在受信中のチャンネル以外は"決定で情報を取得します"と表示されます。該当部分にタッチするか、**∧** **∨** **<** **>** で選んで **決定** にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。ただし、番組情報取得操作を行った結果、番組情報が存在しない場合は空欄となります。

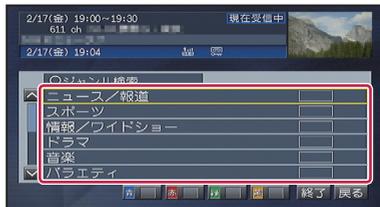
ジャンル検索で見たい番組を選ぶ

ジャンルから見たい番組を検索できます。

メモ

- 検索結果は最大で30番組までです。また、検索対象は24時間以内に開始される番組となります。

1 番組表が表示されているときに 🔍 にタッチする

2 見たい番組のジャンルを選んでタッチする

メモ

- ジャンル検索画面表示中に **∧** **∨** でジャンルを選び、カラーボタン(**青■**、**赤■**、**緑■**、**黄■**)にタッチすると、その選んだジャンルの番組がカラーボタンの色で番組表に表示されます。

3 見たい番組を選んでタッチする

▼

現在放送している番組であれば、その番組に切り換わります。

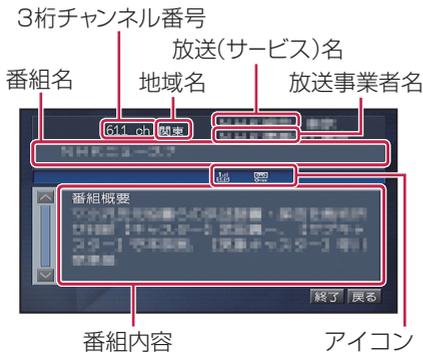
これから放送する番組であれば、その番組の情報が表示されます。

番組内容を見る

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 番組内容 にタッチする（→P25）

▼

番組内容が表示されます。

メモ

- ∧ / ∨ にタッチすると、表示しきれていない番組内容を確認できます。
- 終了 にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

番組情報を取得する

番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。

1 番組情報取得 にタッチする（→P25）

▼

中止 にタッチすると、取得を中止します。

データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合は、データ放送に切り換えることができます。

メモ

- 地域を対象としたサービス（設定した地域の天気予報や選挙速報など）を行っている場合は、郵便番号設定（→ P35）で設定した地域の情報を受信します。

1 ⓓ にタッチする（→P25）

▼

データ放送の画面に切り換わります。

メモ

- データ放送画面は、画面の項目に直接タッチして操作することはできません。十字パネルキーで項目を選んで操作します。→*「データ放送画面の操作のしかた」（P29）*
- データ放送画面から通常の放送画面に戻るには、データ放送画面にタッチしてから ⓓ にタッチします。

データ放送画面の操作のしかた

データ放送画面では、パネルタッチキーを表示させて操作します。

1 データ放送画面で、◀◆▶にタッチする

▼

パネルタッチキーが表示されます。パネルタッチキーには十字パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

十字パネルタッチキーの操作

カーソル操作や項目の決定、各機能ボタンの操作ができます。

×	テレビメニュー画面に戻ります。
d	データ放送画面と通常の放送画面を切り換えます。
数字	数字パネルタッチキーに表示を切り換えます。(→P29)
戻る	1つ前の操作に戻ります。
∧／∨／＜／＞	カーソルを操作します。
決定	項目を決定します。
青	青ボタンとして使います。
赤	赤ボタンとして使います。
緑	緑ボタンとして使います。
黄	黄ボタンとして使います。
ESC	ESCボタンとして、全解除などに使います。
↘	パネルタッチキーを消します。

数字パネルタッチキーの操作

プリセットメモリーの操作や数字の入力などができます。

×	テレビメニュー画面に戻ります。
d	データ放送画面と通常の放送画面を切り換えます。
◀◆▶	十字パネルタッチキーに表示を切り換えます。(→P29)
戻る	1つ前の操作に戻ります。
1 ～ 12/#（数字キー）	数字を入力します。数字入力画面以外では、プリセットメモリーキーとして動作します。
決定	項目を決定します。
↘	パネルタッチキーを消します。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

1 字幕切換にタッチする（→P25）

▼

タッチするごとに、次のように切り換わります。

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF →
字幕1 に戻る

テレビ

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

1 音声切換 にタッチする（→P25）

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

第1音声 → … → 第36音声 →
第1音声 に戻る

音声多重を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声多重を切り換えます。

1 音声多重 にタッチする（→P25）

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

MAIN（主音声）→ **SUB**（副音声）→
MAIN+SUB（主音声＋副音声）→
MAIN に戻る

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

1 映像切換 にタッチする（→P25）

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

映像１ → … → 映像16 →
映像１ に戻る

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択できます。
工場出荷時は「Full」です。

メモ

- 通常映像は縦横比４：３、ワイド映像は縦横比16：９です。

1 ワイドモード にタッチする（→P25）

2 お好みの表示方法にタッチする

Full	4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。
Zoom	4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。
Normal	4：3の映像をそのまま表示します。

メモ

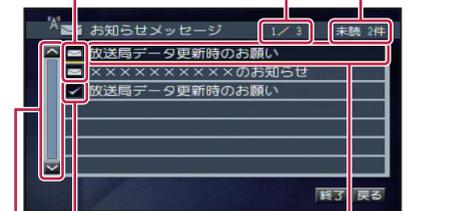
- Zoomで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（Full、Zoomで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

お知らせメッセージを表示する

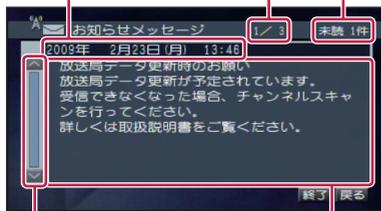
本機に送られてきたメッセージを表示します。

1 お知らせメッセージ にタッチする（→P25）

（→P25）

メッセージ一覧画面

2 内容を見たいメッセージにタッチする

▼

選んだメッセージの内容が表示されます。

メモ

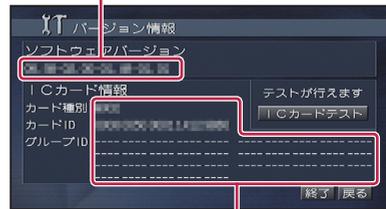
- 戻る または 終了 にタッチすると、放送画面（視聴画面）に戻ります。

バージョン情報を表示する

本機のソフトウェアのバージョンやB-CASカードなどの情報を表示します。

1 バージョン情報 にタッチする（→P25）

（→P25）

▼

メモ

- ICカードテスト にタッチすると、本機に挿入したB-CASカードが正常に動作しているかどうか確認できます。「正常動作中」と表示されれば問題なく視聴できます。「カードエラー」と表示された場合は、B-CASカードに何らかの問題があるため、通常放送は視聴できません。（ワンセグ放送は視聴できます。）B-CASカード本体や本機への挿入状態を再確認してください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

サービスリストからチャンネルを選ぶ

受信中のサービスをリストで表示します。

1 **サービスリスト にタッチする（→P25）**

2 **受信したいサービスチャンネルにタッチする**

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 **サービス切換 にタッチする（→P25）**

▼

別のサービスが表示されます。

テレビの機能設定をする <SPH-DA09 IIのみ>

テレビ視聴時の機能を設定できます。

メモ

・AVソースOFF時やDTV以外のソース選択時は、設定できません。

1 [ ]ボタンを押し、左にフリックする

2 設定 – [⚙] – DTV設定 にタッチする

3 設定したい項目にタッチする

12セグ・ワンセグ切換設定	視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、12セグとワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。(→P34)
シンク切換設定	12セグとワンセグ自動切り換え時に、画像および音声を途切れないようにスムーズにつなぐかを設定します。(→P34)
オート放送局サーチ設定	受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。(→P34)
文字スーパー表示設定	文字スーパーの言語や表示を設定します。(→P34)
イベントリレー設定	別のチャンネルで延長番組が放送されるときに、自動的にチャンネルを切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。(→P34)
緊急警報放送設定	緊急警報放送が始まったときに、チャンネルを自動で切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。(→P35)
地域設定	本機をお使いの地域を設定します。(→P35)
郵便番号設定	本機をお使いの地域を設定します。(→P35)
番組名称情報取得設定	地上デジタルテレビ放送を視聴していないときや4チューナー設定(→P36)を「番組表取得/サーチ優先」に設定している場合に、自動的に最新の番組情報を取得するかどうかを設定します。(→P36)
視聴者設定クリア	廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録されている視聴者設定を消去するための設定です。 チャンネルおよび番組表、テレビの機能設定、データ連動放送のブックマークが消去されます。(→P36)
番組表表示設定	表示する番組表を、主要サービスのメインチャンネルにするか全チャンネルにするかを設定します。(→P36)
4チューナー設定	4つのチューナーを全て受信性能優先とするか、受信と機能を2チューナーずつに分けるかを設定します。 機能とは、中継局サーチや他の放送局の番組表取得などです。(→P36)

12セグ・ワンセグ切換設定

工場出荷時は「オート」です。

1 12セグ・ワンセグ切換設定 にタッチする（→P33）

▼

タッチするごとに、**オート↔マニュアル**が切り換わります。

「オート」	受信状況に応じて、12セグとワンセグを自動で切り換えます。
「マニュアル」	12セグとワンセグを手動で切り換えます。

シンク切換設定

工場出荷時は「On」です。

1 シンク切換設定 にタッチする（→P33）

▼

タッチするごとに、**On ↔ Off** が切り換わります。

「On」	スムーズにつなげます。
「Off」	スムーズにつなぐ機能はOffにします。

メモ

- 12セグ・ワンセグ切換設定が「マニュアル」の場合は、設定できません。

オート放送局サーチ設定

工場出荷時は「中継局」です。

1 オート放送局サーチ設定 にタッチする（→P33）

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

中継局 → 中継局+系列局 → Off →
中継局 に戻る

「中継局」	自動で中継局を探します。
「中継局+系列局」	自動で中継局・系列局を探します。
「Off」	中継局、系列局は探しません。

文字スーパー表示設定

工場出荷時は「第1言語」です。

1 文字スーパー表示設定 にタッチする（→P33）

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

第1言語 → 第2言語 → Off →
第1言語 に戻る

「第1言語」	第1言語で表示します。
「第2言語」	第2言語で表示します。
「Off」	文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

工場出荷時は「マニュアル」です。

1 イベントリレー設定 にタッチする（→P33）

▼

タッチするごとに、**オート↔マニュアル**が切り換わります。

「オート」	自動でチャンネルを切り換えます。
「マニュアル」	手動でチャンネルを切り換えます。

緊急警報放送設定

工場出荷時は「オート」です。

1 緊急警報放送設定 にタッチする（→P33）

▼

タッチするごとに、**オート↔マニュアル**が切り換わります。

「オート」	自動でチャンネルを切り換えます。
「マニュアル」	手動でチャンネルを切り換えます。

地域設定

設定はそれぞれのバンドごとに保存できます。

1 地域設定 にタッチする（→P33）

2 BAND1 または BAND2 にタッチする

3 地域を選んでタッチする

郵便番号設定

設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、それぞれのバンドごとに保存できます。

1 郵便番号設定 にタッチする（→P33）

2 BAND1 または BAND2 にタッチする

3 郵便番号を入力して、↵ にタッチする

メモ

- C にタッチすると、入力した番号を消去します。

テレビ

番組名称情報取得設定

工場出荷時は「On」です。

1 番組名称情報取得設定 にタッチする(→P33)

▼

タッチするごとに、**On ↔ Off** が切り換わります。

「On」	自動的に取得します。
「Off」	自動的に取得しません。

視聴者設定クリア

1 視聴者設定クリア にタッチする(→P33)

2 はい にタッチする

▼

視聴者設定が消去されます。

番組表表示設定

工場出荷時は「メインチャンネル」です。

1 番組表表示設定 にタッチする(→P33)

▼

タッチするごとに、**メインチャンネル ↔ 全チャンネル** が切り換わります。

「メインチャンネル」	メインチャンネルの番組表を表示します。
「全チャンネル」	全チャンネルの番組表を表示します。

4チューナー設定

工場出荷時は「受信性能優先」です。

1 4チューナー設定 にタッチする(→P33)

▼

タッチするごとに、**受信性能優先 ↔ 番組表取得／サーチ優先** が切り換わります。

「受信性能優先」	4つのチューナーを全て受信性能優先します。
「番組表取得／サーチ優先」	必要に応じて2チューナーで放送を受信し、残りの2チューナーで機能を実行します。

音楽CDを聴く ＜SPH-DA09 Ⅱのみ＞

音楽CDの再生のしかたを説明します。

1 ディスクを挿入する（→付属の『取扱説明書』）

▼

自動的に再生が始まります。

（リスト）	リスト画面を表示します。*（→P37）*
タイムバー	タッチした位置より再生します。（タイムバーサーチ再生）*（→P38）*
S.Rtrv	サウンドレトリバー（圧縮音楽の音質補正機能）で再生できます。*（→P38）*
⏮	トラックダウンします。長くタッチすると早戻しします。
▶/⏸	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
⏭	トラックアップします。長くタッチすると早送りします。
（リピート）	リピート再生します。*（→P38）*
（ランダム）	ランダム再生します。*（→P38）*
Media（音楽データ（CD）とWMA/MP3/AAC（ROM）が混在したディスクのみ）	再生対象を選択するメニューが表示されます。 音楽データ（CD）を選択するとき： CD-DA にタッチしてください。 WMA/MP3/AAC（ROM）を選択するとき： Music にタッチしてください。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、HOMEメニュー *（→P8）* で Disc にタッチしてください。
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては *「再生できるディスクの種類」（→P82）* を参照してください。
- 音楽データ（CD）とWMA/MP3/AAC（ROM）が混在しているディスクを再生した場合、CDが優先的に再生されます。

聴きたい曲を探す

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 （リスト）にタッチする（→P37）

2 聴きたい曲にタッチする

▼

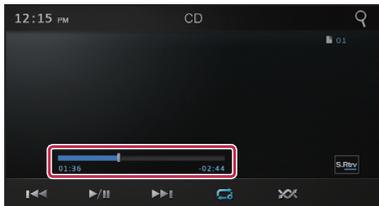
選んだ曲が再生されます。

音楽ディスク

タイムバーサーチ再生

タイムバーのカーソルを左右にスライドさせることで、再生位置(時間)を指定できます。

1 再生画面でタイムバーのカーソルを左右にスライドして、再生位置を決める

▼

指を離した位置(時間)から再生されます。

リピート再生

指定したディスク、トラックを繰り返して再生できます。

1 [リピート]にタッチする(→P37)

(→P37)

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT ←→ TRACK REPEAT

(DISC REPEAT)	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
(TRACK REPEAT)	再生中のトラック(曲)を繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

曲順を変えて再生できます。

1 [ランダム]にタッチする(→P37)

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON(青)/OFF(白)が切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はDISC REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やリピート再生の範囲を超える操作を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

サウンドレトリバーを切り換える

圧縮音楽を再生するときに効果的です。圧縮音楽は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされてしまいます。「サウンドレトリバー」は、デジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補間して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生できます。

1 S.Rtrv にタッチする(→P37)

▼

タッチするごとに、サウンドレトリバーが以下のように切り換わります。

OFF → Mode1 → Mode2 → OFF に戻る

S.Rtrv (OFF)	サウンドレトリバー機能を使用しません。
S.Rtrv (Mode1)	圧縮率の低い圧縮音楽に適しています。
S.Rtrv (Mode2)	圧縮率の高い圧縮音楽に適しています。

ROM(WMA/MP3/AAC)を聴く <SPH-DA09IIのみ>

ROM（WMA/MP3/AAC）の基本的な再生のしかたを説明します。

1 ディスクを挿入する（→付属の『取扱説明書』）

▼

自動的に再生が始まります。

ⓘ	表示する情報を音楽情報またはファイル情報に切り換えられます。
🔍	リストを表示します。*（→P40）*
タイムバー	タッチした位置より再生します。（タイムバーサーチ再生）*（→P40）*
< ／ >	フォルダーのダウン／アップをします。
S.Rtrv	サウンドレトリバー（圧縮音楽の音質補正機能）で再生できます。*（→ P41）*
⏮	トラックダウンします。長くタッチすると早戻しします。
▶/II	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
⏭	トラックアップします。長くタッチすると早送りします。
🔁	リピート再生します。*（→P40）*
🔀	ランダム再生します。*（→P40）*

Media（音楽データ（CD）とWMA/MP3/AAC（ROM）が混在したディスクのみ）	再生対象を選択するメニューが表示されます。 音楽データ（CD）を選択するとき： CD-DA にタッチしてください。 WMA/MP3/AAC（ROM）を選択するとき： Music にタッチしてください。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、HOMEメニューで Disc にタッチしてください。
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては*「再生できるディスクの種類」（→P82）*を参照してください。
- ID3 Tag/ WMA Tag/AAC Tag *（→P86 ～ 87）*からタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
  - アルバムタイトル：フォルダー名
  - トラックタイトル：ファイル名
  - アーティスト名：No Name
- WMAのときにTagのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
- 音楽データ（CD）とWMA/MP3/AAC（ROM）が混在しているディスクを再生した場合、CDが優先的に再生されます。

聴きたい曲を探す

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 にタッチする(→P39)

2 聴きたい曲にタッチする

▼

選んだ曲が再生されます。

メモ

- フォルダーの階層は、リストの左側に表示されています。上位階層のフォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内のリストを表示します。

タイムバーサーチ再生

タイムバーのカーソルを左右にスライドさせることで、再生位置(時間)を指定できます。

1 再生画面でタイムバーのカーソルを左右にスライドして、再生位置を決める

▼

指を離した位置(時間)から再生されます。

リピート再生

指定したディスク、フォルダー、トラックを繰り返して再生できます。

1 にタッチする(→P39)

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT→TRACK REPEAT→FOLDER REPEAT → DISC REPEATに戻る

(DISC REPEAT)	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
(TRACK REPEAT)	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
(FOLDER REPEAT)	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

曲順を変えて再生できます。

1 にタッチする(→P39)

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON(青)/OFF(白)が切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やリピート再生の範囲を超える操作(フォルダーの切り換えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

サウンドレトリバーを切り換える

圧縮音楽を再生するときに効果的です。
圧縮音楽は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされてしまいます。「サウンドレトリバー」は、デジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補間して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生できます。

1 S.Rtrv にタッチする（→P39）

▼

タッチするごとに、サウンドレトリバーが以下のように切り換わります。

OFF→Mode1→Mode2→OFF に戻る

S.Rtrv（OFF）	サウンドレトリバー機能を使用しません。
S.Rtrv（Mode1）	圧縮率の低い圧縮音楽に適しています。
S.Rtrv（Mode2）	圧縮率の高い圧縮音楽に適しています。

DVDビデオを見る ＜SPH-DA09Ⅱのみ＞

DVDビデオの再生のしかたについて説明します。

1 ディスクを挿入する（→付属の『取扱説明書』）

▼

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

▼

操作タッチキー１が表示されます。

操作タッチキー１

タイムバー

🔍	ダイレクトサーチを行います。（→P43）
タイムバー	タッチした位置より再生します。（タイムバーサーチ再生）（→P45）
⏮	チャプターダウンします。
▶/Ⅱ	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。（ディスクによっては続きから再生されない場合があります。）
⏭	チャプターアップします。
⟷	表示画面を設定します。（→P44）
Ⅱ▶	コマ送り再生／スロー再生を行います。（→P44,45）
MENU ／ TOP MENU	ディスクに記録されたメニューがある場合、メニュー画面を表示します。（→P43）
🔁	リピート再生を行います。（→P45）

♪	再生中に音声を切り換えます。（マルチ音声）（→P46）
＞	操作タッチキー２を表示します。

操作タッチキー２

字幕	再生中に字幕を切り換えます。（マルチ字幕）（→P46）
🔈	音声出力を切り換えます。（→P46）
🎥	再生中にカメラアングルを切り換えます。（→P46）
✥	ディスクメニュー操作キーを表示して、ディスクメニューの操作を行います。（→P43）
🔖	再生中のディスクにブックマークを登録します。（→P47）
Return	戻る位置が指定されたディスクの場合、再生中に指定された位置まで戻って再生します。（→P45）
＜	操作タッチキー１を表示します。

メモ

- ✕ にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、HOMEメニューで Disc にタッチしてください。
- DVDによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。→「ディスクメニューの操作（ダイレクトタッチ）」（P43）

- オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生できます。→*「オートプレイ」(P54)*
- DVDの録音レベルはFM/AMやiPodなどに比べ低いため、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターで音量の違いをそろえることができます。*(→P69)*
- 再生できるディスクについては*「再生できるディスクの種類」(→P82)*を参照してください。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生できます。

1 **[検索]にタッチする(→P42)**

2 **指定する方法(サーチの種類)にタッチする**

Title、Chapter、10Keyから選べます。

Title	タイトル番号を指定します。
Chapter	チャプター番号を指定します。
10Key	数字のコマンドを指定します。

3 **見たい番組の番号を入力し、[↵]にタッチする**

▼

指定した場面から再生されます。

メモ

- C にタッチすると、入力した番号を消去します。

ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)

ディスクにあらかじめ記録されているディスクメニューに直接タッチして操作できます。
ディスクメニューの操作方法は、再生するディスクにより異なります。
本機は、画面に表示されるディスクメニューに直接タッチして操作できます。

1 **MENU または TOP MENU にタッチする(→P42)**

2 **画面にタッチして操作する**

メモ

- [◆]にタッチするとディスクメニュー操作キーを表示して操作できます。*(→P42)*

ディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくてタッチしにくいときや、文字列の一部がタッチキーなどに隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作できます。

1 **操作タッチキー2で[◆]にタッチする(→P42)**

2 ∧、＜、＞、∨にタッチして項目を選び、Enterにタッチする

メモ

- Touch にタッチすると、ダイレクトタッチの操作（→P43）に戻ります。
- ⮌にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択できます。
工場出荷時は「Full」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 ⇔にタッチする（→P42）

2 お好みの表示方法にタッチする

Full	4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。
Zoom	4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。
Normal	4：3の映像をそのまま表示します。

メモ

- Zoomで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（Full、Zoomで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 II▶にタッチする（→P42）

▼

再生が一時停止し、II▶にタッチするごとに、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- ▶/IIにタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、⊘（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 II▶ に2秒以上タッチする （→P42）

▼

スロー再生されます。
スロー再生中に II▶ にタッチするごとに、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

- ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、⊘（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生できます。

1 [リピートアイコン] にタッチする （→P42）

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT → DISC REPEAT に戻る

(DISC REPEAT)	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
(CHAPTER REPEAT)	再生中のチャプターを繰り返します。
(TITLE REPEAT)	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート再生範囲は、画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生できます。

1 Retern にタッチする （→P42）

▼

ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

タイムバーサーチ再生

タイムバーのカーソルを左右にスライドさせることで、再生位置（時間）を指定できます。

1 再生画面でタイムバーのカーソルを左右にスライドして、再生位置を決める

▼

指を離した位置（時間）から再生されます。

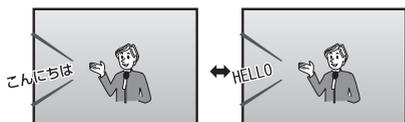
音声言語の切り換え

音声が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます（マルチ音声）。

1 ♪にタッチする（→P42）

▼

タッチするごとに、音声言語が切り換わります。

⇔
メモ

- パッケージについている②))マークの数字が、音声の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。DTS音声は再生できません。
- ［Dolby D］や［5.1ch］などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声出力の切り換え

音声がリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 にタッチする（→P42）

▼

タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L＋R → L → R → MIX → L＋Rに戻る

L+R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
MIX	左右の音声をミックスして出力します。

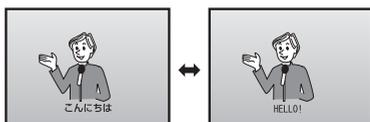
字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます（マルチ字幕）。

1 にタッチする（→P42）

▼

タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。

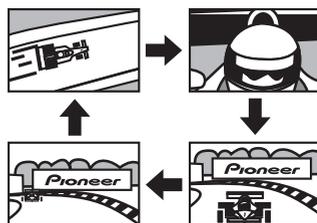
⇔
メモ

- パッケージについている2マークの数字が、字幕の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

アングルの切り換え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます（マルチアングル）。

1 にタッチする（→P42）

▼

タッチするごとに、アングルが切り換わります。

メモ

- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。
- パッケージについている マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、DVD機能設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P53)

ブックマークの登録

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 にタッチする(→P42)

▼

選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、に2秒以上タッチします。

メモ

- ディスク1枚につき1場面登録できます。

DVD-VRを見る ＜SPH-DA09 IIのみ＞

DVD-VRの再生のしかたについて説明します。

1 ディスクを挿入する（→付属の『取扱説明書』）

▼

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

▼

操作タッチキー 1が表示されます。

操作タッチキー 1

タイムバー

🔍	タイトルリストを表示します。（→*P49*）
タイムバー	タッチした位置より再生します。（タイムバーサーチ再生）（→*P51*）
⏮	チャプターダウンします。
▶/II	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。（ディスクによっては続きから再生されない場合があります。）
⏭	チャプターアップします。
⟷	表示画面を設定します。（→*P49*）
◀II／II▶	コマ送り再生／スロー再生を行います。（→*P50*）
▭	再生中に字幕を切り換えます。（マルチ字幕）（→*P51*）
🔁	リピート再生を行います。（→*P50*）
♪	再生中に音声を切り換えます。（マルチ音声）（→*P51*）
>	操作タッチキー 2を表示します。

操作タッチキー 2

🔈	音声出力を切り換えます。（→*P51*）
<	操作タッチキー 1を表示します。

メモ

- ✕ にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、HOMEメニューで **Disc** にタッチしてください。
- DVD-VRの録音レベルはFM/AMやiPodなどに比べ低いため、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターで音量の違いをそろえることができます。（→*P69*）
- 再生できるディスクについては*「再生できるディスクの種類」*（→*P82*）を参照してください。

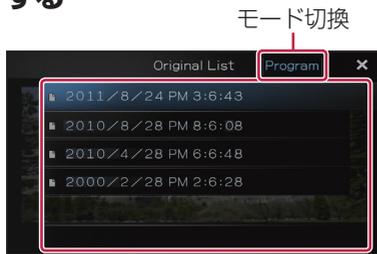
リストからタイトルを選んで再生する

リストから見たいタイトルを選んで再生できます。

1 [検索アイコン]にタッチする(→P48)

2 再生したいタイトルにタッチする

モード切換

▼

選んだタイトルが再生されます。

メモ

- モード切換（Program／PlayList）にタッチするごとに、リスト表示をProgram再生（ディスクに記録された順番に再生）とPlayList再生（ユーザーが任意で指定して記録された順番に再生）に切り換えることができます。
- フォルダーの階層は、リストの左側に表示されています。上位階層のフォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内のリストを表示します。

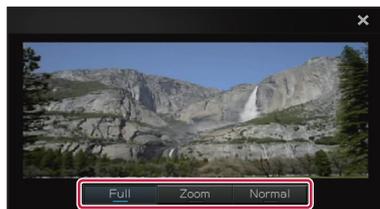
ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択できます。
工場出荷時は「Full」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 [ワイドアイコン]にタッチする(→P48)

2 お好みの表示方法にタッチする

Full	4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。
Zoom	4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。
Normal	4：3の映像をそのまま表示します。

メモ

- Zoomで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（Full、Zoomで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

コマ送り再生

再生中の映像を１コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 にタッチする（→P48）

▼

再生が一時停止し、にタッチするごとに、映像が１コマずつ送られます。

メモ

- にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。
- 静止画コンテンツを再生された場合は、タッチするごとに静止画が順に送られます。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 に2秒以上タッチする（→P48）

▼

スロー再生されます。
スロー再生中に ／ にタッチするとスロー再生速度を調整できます。

1/16 ↔ 1/8 ↔ 1/4 ↔ 1/2

メモ

- にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生できます。

1 にタッチする（→P48）

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT → DISC REPEAT に戻る

(DISC REPEAT)	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
(CHAPTER REPEAT)	再生中のチャプターを繰り返します。
(TITLE REPEAT)	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

タイムバーサーチ再生

タイムバーのカーソルを左右にスライドさせることで、再生位置（時間）を指定できます。

1 再生画面でタイムバーのカーソルを左右にスライドして、再生位置を決める

▼

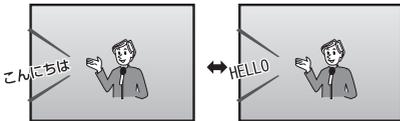
指を離した位置（時間）から再生されます。

音声言語の切り換え

音声が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます（マルチ音声）。

1 ♪ にタッチする（→P48）

▼

タッチするごとに、音声言語が切り換わります。

⬌
メモ

- DTS音声は再生できません。
- ［Dolby D］や［ 5.1ch ］などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声出力の切り換え

音声がリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 [スピーカーアイコン] にタッチする（→P48）

▼

タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L＋R → L → R → MIX → L＋Rに戻る

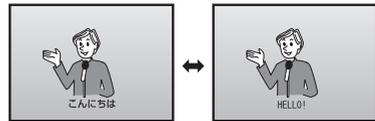
L+R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
MIX	左右の音声をミックスして出力します。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます（マルチ字幕）。

1 [字幕アイコン] にタッチする（→P48）

▼

タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。

⬌
メモ

- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

DVDの機能設定をする ＜SPH-DA09Ⅱのみ＞

DVDの再生条件を使用する環境に合わせて設定できます。

メモ

- AVソースOFF時やDTV以外のソース選択時は、設定できません。

1 ［ ］ボタンを押し、左にフリックする

2 設定 ー ［◉］にタッチする

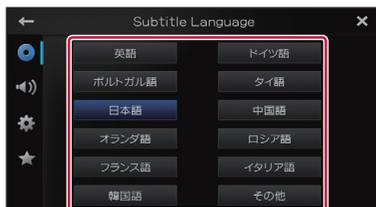
3 設定したい項目にタッチする

基本字幕	優先して表示させたい字幕の言語を設定できます（マルチ言語字幕）。*（→P52）*
基本音声	優先して聞きたい音声の言語を設定できます（マルチ音声）。*（→P53）*
メニュー言語	ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定できます。*（→P53）*
マルチアングル	マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定できます。*（→P53）*
テレビアスペクト	テレビアスペクト（画面の縦横比）を設定します。*（→P53）*
視聴制限レベル	視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。*（→P54）*
DVDオートプレイ	DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。*（→P54）*

基本字幕

工場出荷時は「日本語」です。

1 基本字幕 にタッチする（→P52）

2 言語にタッチして設定する

英語、ポルトガル語、日本語、オランダ語、フランス語、韓国語、ドイツ語、タイ語、中国語、ロシア語、イタリア語 から選んでタッチします。

メモ

- その他の言語を設定したいときは、その他 にタッチし*「言語コード表」（→P55）*より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

基本音声

1 基本音声 にタッチする （→P52）

設定項目は基本字幕言語と同じです。

メニュー言語

1 メニュー言語 にタッチする （→P52）

設定項目は基本字幕言語と同じです。

マルチアングル

工場出荷時は「On」です。

1 マルチアングル にタッチする （→P52）

▼

タッチするごとに On ←→ Off が切り換わります。

On	アングルマークを表示します。
Off	アングルマークを表示しません。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

テレビアスペクト

工場出荷時は「16：9」です。

1 テレビアスペクト にタッチする （→P52）

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

16：9 → レターボックス → パンスキャン → 16：9 に戻る

16：9	ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9で収録された画像が16：9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の横幅を4：3モニターの横幅に合わせて16：9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の縦幅を4：3モニターの縦幅に合わせて16：9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。

メモ

- 通常は16：9に設定してお使いください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、[パンスキャン]に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで 16：9 PS マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限レベル

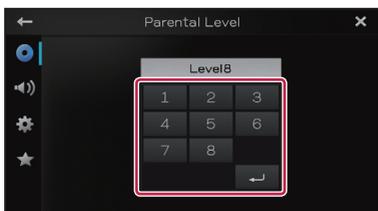
工場出荷時は「8」です。

1 視聴制限レベル にタッチする
（→P52）

2 4桁の暗証番号を入力して、⏎にタッチする

メモ

- はじめて操作する場合は、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。
- C にタッチすると、入力した番号を消去します。

3 制限レベル（1～8）を入力して、⏎にタッチする

設定レベル	内容
8	ディスクをすべて再生します。
7～2	成人向けディスクの再生を禁止します（子供向けや一般向けディスクを再生します）。
1	子供向けのディスクのみ再生します。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で C に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートプレイ

工場出荷時は「Off」です。

1 DVDオートプレイ にタッチする
（→P52）

▼

タッチするごとに On ←→ Off が切り換わります。

On	自動再生します。
Off	自動再生しません。

メモ

- オートプレイの設定をOnにしても、ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOffにして再生してください。

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
日本語（ja）	1001
英語（en）	0514
フランス語（fr）	0618
スペイン語（es）	0519
ドイツ語（de）	0405
イタリア語（it）	0920
中国語（zh）	2608
オランダ語（nl）	1412
ポルトガル語（pt）	1620
スウェーデン語（sv）	1922
ロシア語（ru）	1821
韓国語（ko）	1115
ギリシャ語（el）	0512
アファル語（aa）	0101
アブハジア語（ab）	0102
アフリカーンス語（af）	0106
アムハラ語（am）	0113
アラビア語（ar）	0118
アッサム語（as）	0119
アイマラ語（ay）	0125
アゼルバイジャン語（az）	0126
バシキール語（ba）	0201
ベラルーシ語（be）	0205
ブルガリア語（bg）	0207
ビハーリー語（bh）	0208
ビスラマ語（bi）	0209
ベンガル語（bn）	0214
チベット語（bo）	0215
ブルトン語（br）	0218
カタロニア語（ca）	0301
コルシカ語（co）	0315
チェコ語（cs）	0319
ウェールズ語（cy）	0325
デンマーク語（da）	0401
ブータン語（dz）	0426
エスペラント語（eo）	0515
エストニア語（et）	0520
バスク語（eu）	0521
ペルシア語（fa）	0601
フィンランド語（fi）	0609
フィジー語（fj）	0610
フェロー語（fo）	0615
フリジア語（fy）	0625
アイルランド語（ga）	0701
スコットランドゲール語（gd）	0704
ガルシア語（gl）	0712

言語名（言語コード）	入力コード
グアラニ語（gn）	0714
グジャラート語（gu）	0721
ハウサ語（ha）	0801
ヒンディー語（hi）	0809
クロアチア語（hr）	0818
ハンガリー語（hu）	0821
アルメニア語（hy）	0825
国際語（ia）	0901
interlingue（ie）	0905
イヌピアック語（ik）	0911
インドネシア語（in）	0914
アイスランド語（is）	0919
ヘブライ語（iw）	0923
イディッシュ語（ji）	1009
ジャワ語（jw）	1023
グルジア語（ka）	1101
カザフ語（kk）	1111
グリーンランド語（kl）	1112
カンボジア語（km）	1113
カンナダ語（kn）	1114
カシミール語（ks）	1119
クルド語（ku）	1121
キルギス語（ky）	1125
ラテン語（la）	1201
リンガラ語（ln）	1214
ラオス語（lo）	1215
リトアニア語（lt）	1220
ラトビア語（lv）	1222
マダガスカル語（mg）	1307
マオリ語（mi）	1309
マケドニア語（mk）	1311
マラヤーラム語（ml）	1312
モンゴル語（mn）	1314
モルダビア語（mo）	1315
マラータ語（mr）	1318
マライ語（ms）	1319
マルタ語（mt）	1320
ビルマ語（my）	1325
ナウル語（na）	1401
ネパール語（ne）	1405
ノルウェー語（no）	1415
プロバンス語（oc）	1503
オロモ語（om）	1513
オリヤー語（or）	1518
パンジャブ語（pa）	1601
ポーランド語（pl）	1612

言語名（言語コード）	入力コード
アフガニスタン語（ps）	1619
ケチュア語（qu）	1721
レートロマン語（rm）	1813
キルンディ語（rn）	1814
ローマ語（ro）	1815
キニヤルワンダ語（rw）	1823
サンスクリット語（sa）	1901
シンド語（sd）	1904
サンド語（sg）	1907
セルボクロアチア語（sh）	1908
セイロン語（si）	1909
スロバック語（sk）	1911
スロベニア語（sl）	1912
サモア語（sm）	1913
ショナ語（sn）	1914
ソマリ語（so）	1915
アルバニア語（sq）	1917
セルビア語（sr）	1918
シスワティ語（ss）	1919
セストゥ語（st）	1920
スンダ語（su）	1921
スワヒリ語（sw）	1923
タミル語（ta）	2001
テルグ語（te）	2005
タジル語（tg）	2007
タイ語（th）	2008
チグリス語（ti）	2009
ツルキ語（tk）	2011
タガログ語（tl）	2012
セツワナ語（tn）	2014
トンガ語（to）	2015
トルコ語（tr）	2018
ツォンガ語（ts）	2019
タタール語（tt）	2020
トウィ語（tw）	2023
ウクライナ語（uk）	2111
ウルドゥー語（ur）	2118
ウズベク語（uz）	2126
ベトナム語（vi）	2209
ボラピュク語（vo）	2215
ウォルフ語（wo）	2315
コーサ語（xh）	2408
ユルバ語（yo）	2515
ズールー語（zu）	2621

iPodを使う

本機に接続したiPodの操作のしかたを説明します。

メモ

- iPodを接続するには、別売のiPhone/iPod用接続ケーブル「CD-IUV220」が必要です。
- AndroidとiPodの同時接続が可能です。別売のAndroid用USB電源ケーブルセット「RD-SPC1」が必要です。
- 設定メニューのHDMI接続機器設定で「iPhone」が選択されているときは(→P71)、本機能はご使用になれません。
- ビデオ機能に関しては、ビデオに対応したiPod が必要です。
- iPod利用中にiPodがSTOP状態となることがあります。（映像再生中にiPodを一度外して再度着けた場合など）
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。
- ご使用前に、お持ちのiPodのバージョンを最新にしてください。
- 対応iPodおよび制限事項については、カロッツェリアホームページ（http://carrozzeria.jp）をご覧ください。

1 [⠿]ボタンを押し、[iPod]にタッチする

▼

前回再生していた曲または映像から再生されます。

iPod ミュージック

[iPod]	リスト画面を表示します。(→P57)
トラックタイトル/アーティスト名/アルバムタイトル/ジャンル	タッチすることにより、それぞれに関連したリストを表示します。（リンクサーチ）(→P58)
ジャケット画像	再生中のアルバム内の曲リストを表示します。同一アルバム内での選曲が可能です。
タイムバー	タッチした位置より再生します。（タイムバーサーチ再生）(→P59)
[⏮]	トラックダウンします。
[▶/II]	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
[⏭]	トラックアップします。
[×1] （オーディオブック再生時のみ）	オーディオブックの再生スピードを設定します。(→P59)
[リピート]	リピート再生を行います。(→P59)
[シャッフル]	シャッフル再生を行います。(→P59)

iPodビデオ

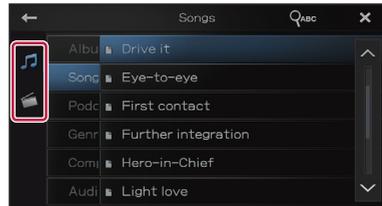
タイムバー

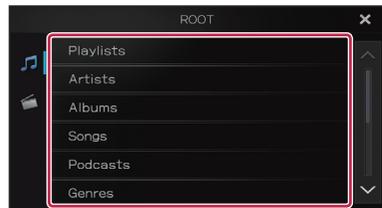
✕	操作タッチキーを消します。
iPod	リスト画面を表示します。（→P57）
タイムバー	タッチした位置より再生します。（タイムバーサーチ再生）（→P59）
⏮	トラックダウンします。
▶/II	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
⏭	トラックアップします。
⇔	表示画面を設定します。（→P58）
🔁	リピート再生を行います。（→P59）
🔀	シャッフル再生を行います。（→P59）

聴きたい曲や見たい映像を探す

リストを表示して、聴きたい曲や見たい映像を直接選ぶことができます。

1 iPodにタッチする（→P56）

2 ♫または🎬にタッチする

ABCにタッチするとトラック名またはビデオ名から絞り込むことができます。

3 曲または映像を絞り込む

4 聴きたい曲や見たい映像にタッチする

▼

聴きたい曲や見たい映像が再生されます。

メモ

- フォルダーの階層は、リストの左側に表示されています。上位階層のフォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内のリストを表示します。
- ✕ にタッチすると再生画面に戻ります。

リンクサーチ（ミュージックのみ）

iPodミュージック再生中に表示されているトラックタイトルやアーティスト名、アルバムタイトル、ジャンル、ジャケット画像から聴きたい曲を探すことができます。

トラックタイトル	iPodミュージック内の全てのトラックリストを表示します。
アーティスト名	iPodミュージック内の全てのアーティスト名を表示します。
アルバムタイトル	iPodミュージック内の全てのアルバムリストを表示します。
ジャンル	iPodミュージック内の全てのジャンルリストを表示します。
ジャケット	再生中のアルバムの曲リストを表示します。

ワイドモードを設定する（ビデオのみ）

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択できます。
工場出荷時は「Full」です。

メモ

- 通常映像は縦横比４：３、ワイド映像は縦横比16：９です。

1 ⟺ にタッチする（→P57）

2 お好みの表示方法にタッチする

Full	4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。
Zoom	4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。
Normal	4：3の映像をそのまま表示します。

メモ

- Zoomで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（Full、Zoomで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生できます。

1 にタッチする(→P56,57)

(→P56,57)

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT ONE ↔ REPEAT ALL

(REPEAT ONE)	再生中のプレイリスト、アルバム、またはその他のリストのトラック(曲)を繰り返します。
(REPEAT ALL)	通常の再生状態です。再生中のiPod内の曲を繰り返します。

シャッフル再生

再生順を変えて再生できます。

1 にタッチする(→P56,57)

▼

タッチするごとに、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。

OFF → SHUFFLE SONGS → SHUFFLE ALBUMS → OFF に戻る

(SHUFFLE SONGS)	プレイリスト、アルバム、またはその他のリストのトラック(曲)をランダムで再生します。
(SHUFFLE ALBUMS)	プレイリストまたはアルバム内のトラック(曲)をランダムで再生します。

メモ

- ビデオ再生時は、にタッチするごとに、シャッフル再生のON/OFFが切り換わります。

タイムバーサーチ再生

タイムバーのカーソルを左右にスライドさせることで、再生位置(時間)を指定できます。

1 再生画面でタイムバーのカーソルを左右にスライドして、再生位置を決める

▼

指を離した位置(時間)から再生されます。

オーディオブックの再生スピードを設定する(ミュージックのみ)

オーディオブック再生時の再生スピードを変えられます。

1 ×1 にタッチする(→P56)

▼

タッチするごとに、再生スピードが以下のように切り換わります。

×1 → ×2 → ×1/2 → ×1 に戻る

×1	通常のスピードで再生します。
×2	2倍のスピードで再生します。
×1/2	通常の半分程度のスピードで再生します。

iPod

ハンズフリー通話をする

本機にBluetooth接続したスマートフォンを使って、ハンズフリー通話ができます。あらかじめBluetooth設定を行ってください。→*「Bluetooth設定をする」（P76）*

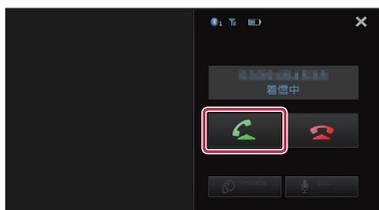
ハンズフリーでエコー（残響音）が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用するスマートフォン、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。
以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする*（→P63）*
- お互いに一呼吸おいて話す

ただし、本機内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

電話の受けかた

電話がかかってくると、車のスピーカーから着信音が流れ、以下の画面が表示されます。

にタッチすると電話がつながり、通話ができます。

メモ

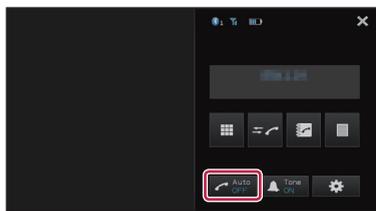
- 電話帳*（→P61）*に登録されている電話番号と一致すると、電話帳で登録された名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、相手の電話番号や名前は表示されません。
- スマートフォンを操作して電話に出ることもできます。
- スマートフォン側で応答保留にしても、にタッチすることで応答保留を解除できます。
- 電話の切りかたは、*「通話中メニューの操作」（→P63）*をご覧ください。

自動応答設定をする

かかってきた電話に自動応答するかしないかを設定できます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 **ボタンを押し、 にタッチする**

2 **Auto にタッチする**

▼

タッチするごとに、ON ↔ OFF が切り換わります。

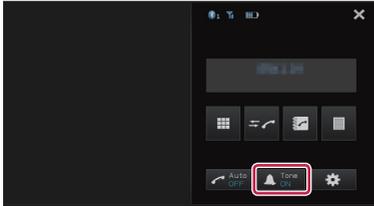
ON	着信5秒後に自動で通話できます。
OFF	にタッチしない限り、通話できません。

着信音の出力設定をする

車のスピーカーから着信音を出力するかしないかを設定できます。
工場出荷時は「ON」です。

1 [ ] ボタンを押し、[ ] にタッチする

2 Tone にタッチする

▼

タッチするごとに、ON ↔ OFF が切り換わります。

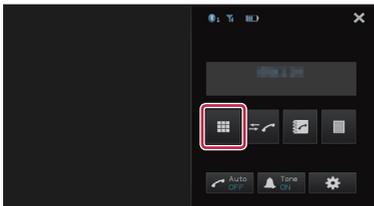
ON	スピーカーから出力します。
OFF	スピーカーから出力しません。

電話のかけかた

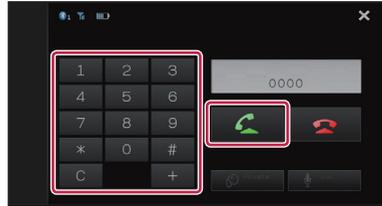
いろいろな方法で電話をかけることができます。

電話番号を入力して電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

1 [ ] ボタンを押し、[ ] にタッチする

2 [ ] にタッチする

3 電話番号を入力し、[ ] にタッチする

▼

発信を開始します。
発信中 [ ] にタッチすると、発信を中止します。

電話帳から電話をかける

スマートフォンから転送した電話帳情報を使って電話をかけます。あらかじめ、スマートフォンの電話帳を本機に転送してください。電話帳の転送方法は、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

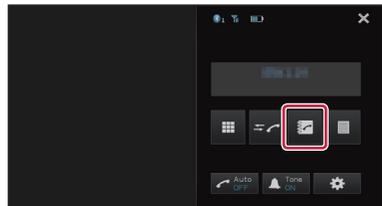
メモ

- 電話帳は、登録したスマートフォンごとに、それぞれ１000件ずつ保存できます。
- 電話帳は、本機に登録されたスマートフォンごとに読み込まれます。接続するスマートフォンを切り換えると、表示される電話帳の内容も切り換わります。

1 [ ] ボタンを押し、[ ] にタッチする

2 [ ] にタッチする

3 相手先を選んでタッチする

メモ

- [icon]にタッチすると、姓名の順序を入れ換えて表示できます。

4 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする

5 [icon]にタッチする

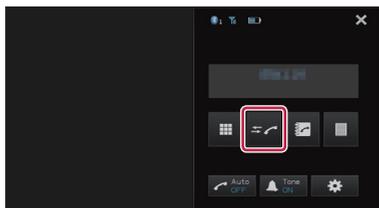
▼

発信を開始します。

発着信履歴から電話をかける

本機と接続中の履歴（発信、着信、不在着信）を表示し、電話をかけることができます。

1 [ボタン]ボタンを押し、[icon]にタッチする

2 [icon]にタッチする

3 表示したい履歴を選んでタッチする

発信履歴　着信履歴

不在着信

メモ

- [icon]にタッチすると、姓名の順序を入れ換えて表示できます。

4 相手先を選んで[icon]にタッチする

▼

発信を開始します。

メモ

- 発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を含め、100件まで保存されます。新しい履歴ができたときは、古い履歴から順に削除されます。

プリセットダイヤルから電話をかける

よく連絡する相手をスマートフォンごとに6件まで登録できます。

プリセットダイヤルに登録する

1 [ボタン]ボタンを押し、[icon]にタッチする

2 電話帳（→P61）または発着信履歴（→P62）から登録する相手を選んで、2秒以上タッチする

▼

プリセットダイヤルに登録されます。

電話をかける

1 [ボタン]ボタンを押し、[電話]にタッチする

2 [アイコン]にタッチする

3 相手先を選んでタッチする

メモ

- プリセットダイヤルに2秒以上タッチすると、登録した相手を削除できます。

4 [発信]にタッチする

▼

発信を開始します。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが表示され、受話音量の調整やハンズフリー機能のON/OFF、電話を切るなどの操作ができます。

×	音声をMute（保留状態）にします。Muteを解除するときは、[ボタン]ボタンを押し、[電話]にタッチしてください。
[終話]	電話を切ります。
Private	ハンズフリー機能をON/OFFします。スマートフォンで通話したいときはONにします。
Vol.	受話音量を3段階で調整できます。

メモ

- スマートフォン側で操作することもできます。

バックカメラを使う

別売のバックカメラユニットを接続すると、車の後方映像を本機のモニターに表示できます。
バックカメラの映像表示には、2通りの方法があります。

・リバース連動
　－バック信号線の接続が必要です。→*付属の『取付説明書』*
　－カメラの極性設定が必要です。→*「カメラ極性設定をする」*（P72）

・リアビューモード
　－カメラの極性設定が必要です。→*「カメラ極性設定をする」*（P72）

メモ

• カメラ映像は調整できます。→*「画質調整をする」*（P72）

注意

• バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

バックカメラの映像を表示する

リバース連動で表示する

1 車両のシフトレバーをR(リバース)の位置にする

▼

バックカメラの映像が表示されます。

シフトレバーを他のギアに切り換えると、元の表示に戻ります。

リアビューモードで表示する

1 ボタンを押し、にタッチする

▼

バックカメラの映像が表示されます。

リアビューモード中に画面にタッチすると、元の画面に戻ります。
元の画面がAVソース画面の場合、何も操作しないと約7秒後にリアビューモードに戻ります。
リアビューモードを解除するには、もう一度HOMEメニューの にタッチしてください。

メモ

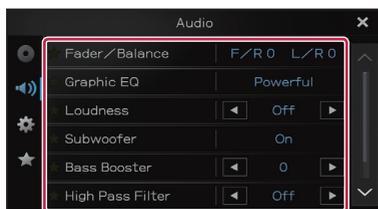
• リアビューモードにすると は青色に、解除すると白色になります。

オーディオ設定をする

お好みに合わせてオーディオの音質を設定できます。

メモ

- アプリ、Disc、DTV、iPod、FM/AMのいずれも選択していない状態やミュート中は、設定できません。

1 [ ] ボタンを押し、左にフリックする

2 設定 － [🔊] にタッチする

3 設定したい項目にタッチする

項目	説明
Fader／Balance （リアスピーカー設定で「フルレンジ」選択時）	前後左右の音量バランスを設定できます。*(→P65)*
Balance （リアスピーカー設定で「サブウーファー」選択時）	左右の音量バランスを設定できます。*(→P66)*
Graphic EQ	あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調節した設定（Custom1、Custom2）からイコライザーカーブを選ぶことができます。*(→P66)*
Loudness	小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にできます。*(→P67)*
Subwoofer	サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。*(→P67)*
Bass Booster	サブウーファーから出力される低音域の増強効果を設定します。*(→P68)*
High Pass Filter	選んだ周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。*(→P69)*
Source Level Adjuster	AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。*(→P69)*

Fader ／ Balance設定

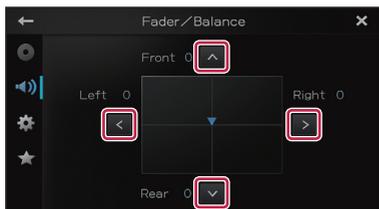
工場出荷時は以下の通りです。

F ／ R:「0」
L ／ R:「0」

メモ

- リアスピーカー設定 *(→P70)* が「サブウーファー」の場合は、設定できません。

1 Fader ／ Balance にタッチする(→P65)

2 **∧、<、∨、>にタッチして、前後左右の音量バランスを調整する**

音量バランスをカーソルの位置で確認できます。

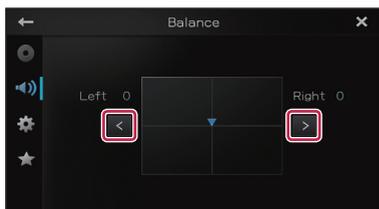
Balance設定

工場出荷時は「L ／ R：0」です。

メモ

- リアスピーカー設定（→*P70*）が「フルレンジ」の場合は、設定できません。

1 **Balance にタッチする（→P65）**

2 **<、>にタッチして、左右の音量バランスを調整する**

音量バランスをカーソルの位置で確認できます。

Graphic EQ設定

工場出荷時は「Flat」です。

1 **Graphic EQ にタッチする（→P65）**

2 **お好みの設定（ファクトリーカーブ）にタッチする**

▼

タッチするごとに、イコライザーカーブが切り換わります。

ファクトリーカーブ	S.Bass	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
	Powerful	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
	Natural	自然なバランスで、聞き疲れしない心地良い音を再生します。
	Vocal	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
	Flat	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
Custom1		AVソースごとに異なる調整値を登録して、Customメモリーから呼び出します。
Custom2		すべてのAVソースに共通の調整値を登録して、Customメモリーから呼び出します。

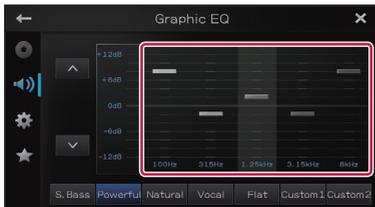
イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数ごとに細かくレベルを補正できます。補正した値は、Custom1 に登録されます。

メモ

- Custom2 を選んで行った補正値は、Custom2に登録されます。

1 ファクトリーカーブを選ぶ (→P66)

2 補正する周波数にタッチする

100 Hz、315 Hz、1.25 kHz、3.15 kHz、8 kHzから周波数を選べます。

3 ∧、∨にタッチして、レベルを補正する

▼

タッチするごとに、－12 dB ～ +12 dB の間で2 dBごとに調整できます。

Loudness設定

工場出荷時は「Off」です。

1 ◀または▶にタッチする

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

Off ↔ Low ↔ Mid ↔ High ↔ Off

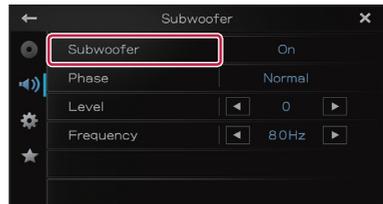
Subwoofer設定

工場出荷時は以下のとおりです。

Subwoofer ：「On」
Phase ：「Normal」
Level ：「0」
Frequency ：「80 Hz」

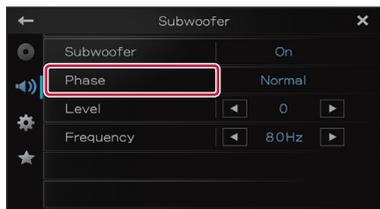
1 Subwoofer にタッチする (→P65)

2 Subwoofer にタッチする

▼

タッチするごとに、**On** ↔ **Off** が切り換わります。

On	サブウーファー出力を設定する場合に選びます。
Off	サブウーファー出力を設定しない場合に選びます。以降の設定は必要ありません。

3 Phase にタッチして位相を設定する

▼

タッチするごとに、Normal ↔ Reverse が切り換わります。

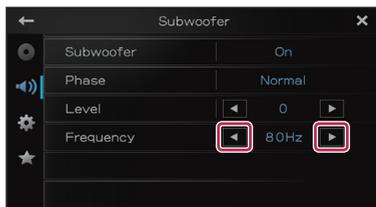
Normal	フロント/リアスピーカーと同じ位相で出力するとき
Reverse	フロント/リアスピーカーと逆の位相で出力するとき

メモ

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。サブウーファーを固定したあとに、NormalまたはReverseどちらかを選んで、低音の音量が大きく感じられる方に設定してください。

4 ◀ または ▶ にタッチしてレベルを設定する

－24 dB ～ +6 dBの間で 1 dBごとに調整できます。

5 ◀ または ▶ にタッチしてカットオフ周波数を設定する

50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hz から周波数を選べます。

メモ

- カットオフ周波数やレベルは、フロント/リアスピーカーとのバランスやお好みに応じて設定してください。

Bass Booster設定

工場出荷時は「0」です。

1 ◀ または ▶ にタッチする

0 dB ～ +6 dBの間で 1 dBごとに調整できます。

High Pass Filter設定

工場出荷時は「Off」です。

1 ◀または▶にタッチする

Off、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hzから周波数を選べます。

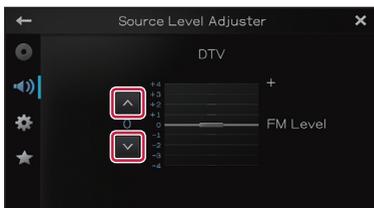
Source Level Adjuster設定

工場出荷時は「±0 dB」です。

メモ

- FMの音量を基準にDisc、DTV、iPod、AMとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- Disc、DTV、iPod、AMそれぞれで登録されますが、CDとROMは同じ設定になります。

1 Source Level Adjusterにタッチする（→P65）

2 ∧または∨にタッチする

－4 dB ～＋4 dBの間で1 dBごとに調整できます。

システム設定をする

1 ［ ］ボタンを押し、左にフリックする

2 設定 – ［⚙］にタッチする

3 設定したい項目にタッチする

項目	説明
HDMI接続機器設定	スマートフォンの種類に合わせて、HDMIの接続方法を設定できます。（→P71）
リアスピーカー設定	接続するリアスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法が設定できます。（→P71）
タイトルスクロール	Disc、iPodのリスト画面を表示したときに、タイトルスクロール機能を常時または1回のどちらかに設定できます。（→P71）
Bluetooth メモリクリア	Bluetooth設定の内容を消去できます。（→P71）
Bluetooth ソフトウェアアップデート	Bluetoothソフトウェアをアップデートする際に使用します。
Bluetooth バージョン情報	Bluetoothのバージョン情報を表示できます。
カメラ極性設定	別売のバックカメラユニット接続時に、車の後方の映像を表示できるように設定できます。（→P72）
映像信号設定	バックカメラの映像信号を設定できます。（→P72）
画質調整	周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて画質を調整できます。（→P72）
MIX音声レベル	MIX時（→P12）のアプリの音量を設定できます。（→P73）
時計表示	HOMEメニューの時計/カレンダーの表示形式を12時間表示または24時間表示のどちらかに設定できます。（→P73）
壁紙	HOMEメニュー画面などの背景を設定できます。（→P73）
システムリセット	設定した内容を消去して、工場出荷時の状態に戻すことができます。（→P73）
取り付け状態	GPSアンテナの接続状態や受信感度と測位状態、取り付け位置の確認や車速パルス、電源電圧、バック信号の状態などが表示できます。（→P74）
センサー学習状況	センサーの学習状況を確認できます。（→P74）
放送局選択	同じ周波数でも、地域により受信する放送局が違うことがあります。本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なる場合は、放送局名を変更できます。（→P75）

HDMI接続機器設定をする

工場出荷時は「Android」です。

1 **HDMI接続機器設定 にタッチする****(→P70)**

▼

タッチするごとに、**iPhone** ↔ **Android** が切り換わります。

iPhone	HDMIでiPhone 5を接続します。
Android	HDMIでAndroidを接続、またはUSBでiPhone 4/iPhone 4Sを接続します。

メモ

- スマートフォンがケーブル接続やBluetooth接続されているときは操作できません。
- HDMI接続機器設定をiPhoneに設定した場合は、iPodソースは使用できません。iPhone内の音楽を再生する場合は、Linkwithメディアプレーヤーをご利用ください。
- HDMIの接続機器設定を正しく行わないと、スマートフォンとのBluetooth接続ができなくなります。
- ソースやアプリがOFFのとき（HOMEメニューで「OFF」選択）以外は操作できません。

リアスピーカー設定をする

工場出荷時は「フルレンジ」です。

1 **リアスピーカー設定 にタッチする****(→P70)**

▼

タッチするごとに、**フルレンジ** ↔ **サブウーファー** が切り換わります。

フルレンジ	リアスピーカーの出力をフルレンジに設定します。
サブウーファー	リアスピーカーの出力をサブウーファーに設定します。

タイトルスクロール設定をする

工場出荷時は「1回」です。

1 **タイトルスクロール にタッチする****(→P70)**

▼

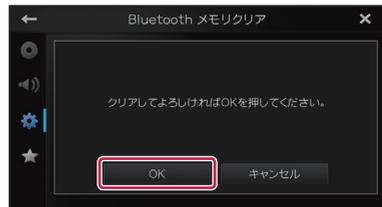
タッチするごとに、**1回** ↔ **常時** が切り換わります。

1回	タイトルスクロールを1回スクロールさせます。
常時	タイトルスクロールを常時スクロールさせます。

Bluetoothメモリクリア

1 **Bluetoothメモリクリア にタッチする****(→P70)**

2 **クリア － OK にタッチする**

▼

設定が初期化されます。

カメラ極性設定をする

工場出荷時は「Off」です。

1 カメラ極性設定 にタッチする
(→P70)

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

Off → High → Low → Off に戻る

High	車のシフトレバーをR(リバース)の位置にしたときに、取り付け状態(→P74)の「バック信号」がHighと表示される車両の場合に選択します。
Low	車のシフトレバーをR(リバース)の位置にしたときに、取り付け状態(→P74)の「バック信号」がLowと表示される車両の場合に選択します。

カメラの映像信号を設定する

工場出荷時は「オート」です。

1 映像信号設定 にタッチする
(→P70)

2 ◀ または ▶ にタッチして、映像信号を選ぶ

オート、PAL、NTSC、PAL-M、PAL-N、SECAM から選べます。

画質調整をする

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「ディマー」、「色温度」を調整できます。

メモ

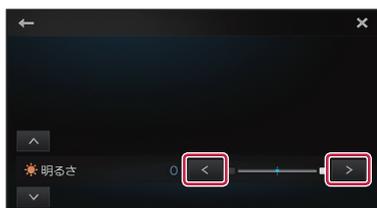
- 車のライトに連動して、昼と夜の設定を自動的に切り換えます。
- 「コントラスト」、「明るさ」、「ディマー」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 「色の濃さ」、「色合い」は、映像系AV ソースを表示している場合のみ、調整できます。
- 色温度は、LED バックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- 走行中は操作できません。

1 画質調整 にタッチする
(→P70)

2 調整したい項目にタッチする

メモ

- バックカメラ または ソース にタッチすると、調整範囲をバックカメラまたはAVソース(アプリを含む)に切り換えられます。

3 < または > にタッチして調整する

明るさ

暗	暗くなる
明	明るくなる

コントラスト

L	白黒の差が小さくなる
H	白黒の差が大きくなる

色の濃さ

L	薄くなる
H	濃くなる

色合い

R	赤くなる
G	緑になる

ディマー

暗	暗くなる
明	明るくなる

色温度

(赤)	暖色系が強くなる
(青)	寒色系が強くなる

MIX音声レベル設定をする

工場出荷時は「Mid」です。

1 MIX音声レベル にタッチする **(→P70)**

▼

タッチするごとに、MIX時のアプリの音量が以下のように切り換わります。

Mid → High → Low → Mid に戻る

時刻表示設定をする

工場出荷時は「12H」です。

1 時計表示 にタッチする **(→P70)**

▼

タッチするごとに、12H ↔ 24H が切り換わります。

12H	時刻表示が12時間表示になります。
24H	時刻表示が24時間表示になります。

壁紙設定をする

1 壁紙 にタッチする **(→P70)**

2 壁紙を選んでタッチする

▼

選んだ壁紙が設定されます。

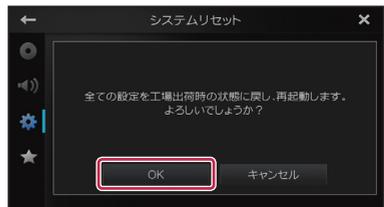
システムリセットをする

注意

- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は事前に控えておいてください。

1 システムリセット にタッチする **(→P70)**

2 OK にタッチする

▼

設定がリセットされ、工場出荷時の状態に戻ります。

取り付け状態を確認する

1 **取り付け状態** **にタッチする（→P70）**

▼

GPS アンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。

測位状態

現在の測位状態（3次元測位／2次元測位／未測位）と受信中の衛星の数が表示されます。橙色の衛星マークは測位に使用している衛星の数、黄色の衛星マークは捕捉中の衛星の数を示します。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。

取り付け位置

本機の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」、設置状態に問題があるときは、「取付角度許容範囲外」または「振動許容範囲外」と表示されます。

車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて数字が変化します。

電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11 V～15 Vの範囲にあれば正常です。なお、最大で±0.5 V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

バック信号

バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にすると「High」と「Low」の表示が入れ換わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。また、別売のバックカメラを接続してのリバース連動は動作しません。

センサー学習状況を確認する

センサー学習状況を確認できます。

メモ

- センサー学習とは、本機の3Dハイブリッドセンサーが走行状況（距離/方位/傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。学習した結果は、本機に内蔵されているセンサーメモリーに蓄積され、走行を重ねるごとに測位精度が高くなります。

1 **センサー学習状況** **にタッチする（→P70）**

▼

前後G/回転速度計　傾斜計

前後G/回転速度計	現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。
傾斜計	現在本機が認識している上下の傾きが道路の傾きで表現されます。

センサーリセットについて

本体の取り付け位置や角度を変更した場合、または別の車両へ載せ換えた場合などは、センサーリセットを行ってください。

1 センサー学習状況 にタッチする(→P70)

2 学習リセット にタッチする

3 距離学習リセット または オールリセット にタッチする

距離学習リセット	タイヤを交換したあと、しばらくたっても距離誤差が補正されない場合に選択します。
オールリセット	測位の誤差が大きくなった場合に選択します。

4 はい にタッチする

▼

センサー学習がリセットされます。

放送局表示を選ぶ

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。画面に表示されている放送局名と受信している放送局名が異なる場合は、放送局名を変更できます。

メモ

- ラジオ受信中以外は、設定できません。

1 放送局選択 にタッチする(→P70)

2 放送局名 にタッチする

▼

タッチするごとに、放送局名が切り換わります。

メモ

- 放送局名を表示させたくない場合には、「空白」を選んでください。

Bluetooth設定をする

アプリ機能（Android、iPhone 5接続時）やハンズフリー機能を利用するためには、スマートフォンを本機にBluetooth接続します。

本機と接続可能なスマートフォンについて

- ドコモスマートフォン（Android）とiPhone（ソフトバンク/au）に対応しています。
  最新の対応機種は、カロッツェリアホームページをご覧ください。
  （http://pioneer.jp/carrozzeria/support/splink/）
- 本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP （Hands Free Profile）	ハンズフリー通話
OPP （Object Push Profile）	電話帳転送
PBAP （Phone Book Access Profile）	電話帳同期
HSP （Headset Profile）	ヘッドセット通話
SPP （Serial Port Profile）	シリアル通信

- スマートフォンは、ロック機能を解除してから接続してください。

Bluetooth接続できないときは

以下症状でお困りの場合は、それぞれの「処置」をお試しください。

症状	処置
HFP接続はできるが、SPP接続ができない。	スマートフォンのBluetooth機能をOFF→ONしてください。
	HDMI接続機器設定（→*P71*）が正しく設定されているか確認してください。
	スマートフォンの電源をOFF→ONしてください。
HFP接続ができない。	車のエンジンスイッチをOFF→ON（ACC OFF→ON）してください。
	本機に登録済みのスマートフォンをいったん削除し、もう一度登録・接続を行ってください。

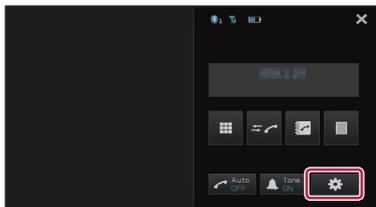
Bluetooth設定メニューを表示する

注意

- パーキングブレーキが解除されている場合は操作できません。安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

1 ボタンを押し、 にタッチする

2 にタッチする

▼

機器登録／削除	Bluetooth接続するスマートフォンを本機に登録（ペアリング）します。（→P77） また、スマートフォンを2台以上登録したときは、手動で切り換えたり、削除できます。（→P79）
特別接続機器	特殊なBluetooth機器を本機に登録できます。（→P78）
自動接続	本機とスマートフォンの自動接続を設定できます。（→P79）
自機検出	自機検出の設定ができます。（→P79）
パスキー	本機のパスキーを変更できます。（→P80）
自機名称	本機の自機名称とBDアドレスを表示します。（→P80）

スマートフォンを登録する

メモ

- 最大3台のスマートフォンを登録できます。スマートフォンの切り換えかたは「スマートフォンを切り換える」（→P79）をご覧ください。

1 機器登録／削除 にタッチする（→P76）

2 スマートフォンのBluetooth機能をONにし、本機からの検出が可能な状態にする

例：

メモ

- Androidをお使いの場合は、『Linkwith』の「設定／ヘルプ」－「Bluetooth接続マニュアル」－「Bluetooth設定画面を開く」からAndroidのBluetooth設定画面を表示させることができます。

3 [検索アイコン] にタッチする

▼

周辺のBluetooth機器を自動的に探します。

▼

Bluetooth機器が見つかると、リスト表示されます。

お使いのスマートフォンによっては本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、特別接続機器（→P78）から登録をしてください。

4 登録するスマートフォンにタッチする

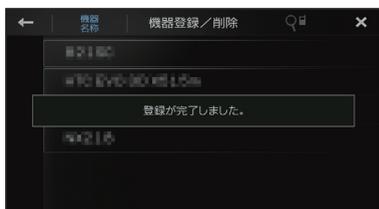
メモ

- 機器名称 または BDアドレス にタッチすると、リスト表示を機器名称またはBDアドレスに切り換えられます。

5 以下画面が表示されたら、スマートフォンを操作してペアリング設定をする

▼

▼

ペアリングが成功すると以下画面が表示されます。

引き続き、電話帳へのアクセス許可を求めるメッセージと、本機への接続許可を求めるメッセージが順番に表示されます。それぞれ設定を行ってください。

▼

ペアリングが完了すると、自動的に本機とスマートフォンとのBluetooth接続が開始されます。

メモ

- Androidをお使いの場合は、電話帳へのアクセス許可を求めるメッセージがステータスバーにのみ表示されることがあります。その場合は、ステータスバーを下にドラッグして、通知パネルを表示して操作してください。
- Androidをお使いの場合は、Bluetooth接続完了まで約30秒から1分程度かかります。
- スマートフォンからパスキーを求められた場合は、本機に表示されている数字を入力してください。

特別接続機器を登録する

「機器登録／削除」からの操作で登録できないスマートフォンをお使いの場合は、以下の方法で登録を行ってください。

1 特別接続機器 にタッチする （→P76）

2 お使いのスマートフォンを選んでタッチする

3 スマートフォンから本機を登録する

スマートフォンのBluetooth機能をONにします。

その後、スマートフォンから本機を検出し、機器登録を行います。機器登録後、スマートフォンと本機間でBluetooth接続が行われます。

▼

以上で、登録完了です。

スマートフォンを切り換える

スマートフォンを複数台登録した場合、切り換えて使用できます。

1 機器登録／削除 にタッチする （→P76）

2 切り換えたいスマートフォンにタッチする

メモ

- 切り換えるスマートフォンのBluetooth機能がONになっていないと、スマートフォンが画面に表示されません。

▼

選んだスマートフォンに切り換わります。

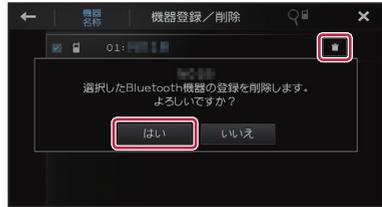
接続中のスマートフォンには、☑が付きます。

スマートフォンを削除する

登録したスマートフォンを削除します。

1 機器登録／削除 にタッチする （→P76）

2 🗑 ー はい にタッチする

▼

スマートフォンが削除されます。

自動接続を設定する

本機に登録したスマートフォンが接続可能な場合、自動で接続を行います。

1 自動接続 にタッチする （→P76）

タッチするごとに、On ↔ Off が切り換わります。

On	スマートフォンと自動接続します。
Off	スマートフォンと自動接続しません。

メモ

- 自動接続を「On」に設定している場合でも、スマートフォンの状況によっては再接続できないときがあります。

自機検出を設定する

スマートフォンから本機を検出できるようにします。

1 自機検出 にタッチする （→P76）

タッチするごとに、On ↔ Off が切り換わります。

On	スマートフォンから本機を検出できます。
Off	スマートフォンから本機は検出できません。

メモ

- 設定を「Off」にしても、Bluetooth機能は使用できます。

パスキーを設定する

本機のパスキーを設定できます。

工場出荷時は「0000」です。

1 パスキー にタッチする
(→P76)

2 パスキーを入力し、 ↵ にタッチする

メモ

- パスキーは、8桁まで入力できます。
- C にタッチすると、入力した番号を消去します。

自機情報を表示する

本機の自機名称やBDアドレスを確認できます。

1 自機名称 にタッチする
(→P76)

▼

Bluetooth設定の流れ

HOMEメニューを表示し、[電話アイコン]にタッチする

[設定アイコン]にタッチする

機器登録／削除にタッチする

例：

スマートフォンのBluetooth機能をONにし、本機からの検出が可能な状態にする。

[検索アイコン]にタッチする

お使いのスマートフォンが表示されたらタッチする

例：

スマートフォンを操作して、本機とのペアリングを設定する。

例：

スマートフォンを操作して、電話帳へのアクセスを設定する。
※Androidをお使いの場合、このメッセージがステータスバーにのみ表示されることがあります。その場合は、ステータスバーを下にドラッグし通知パネルを開いて操作してください。

例：

スマートフォンを操作して、本機との接続を許可する。

自動的に本機とスマートフォン間でのBluetooth接続を開始します。
※Bluetooth接続が完了するまで約30秒〜1分程度かかります。

再生できるディスクの種類<SPH-DA09Ⅱ>

以下マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDビデオ

CD

- DVDオーディオディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録されファイナライズされたもの、およびWMA/MP3/AACファイルが収録されたものに限り、再生できます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード／VRモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRAは、音楽CDとして再生できます。
- コピーガード機能付きCD（Copy Control CDなど）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 本機は、音楽データ（CD）とWMA/MP3/AACデータ（ROM）が混在しているディスクの再生には対応していますが、再生される優先順位はCDから再生されます。
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

ハイビジョン画質（AVCHD/AVCREC規格）で記録されたディスクについて

- 本機は、AVCHD/AVCREC規格に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD/AVCREC規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合が起こる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
2	音声の数
2	字幕の数
3	アングルの数
16 : 9 LB	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類
2 ALL	再生可能な地域番号（リージョン番号） 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピート再生など一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。

ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク

付録

ディスクの構成について <SPH-DA09Ⅱ>

DVDビデオ

DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。

メモ

- 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

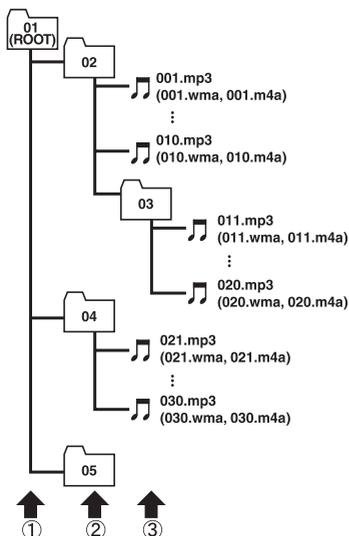
CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

WMA/MP3/AACファイルについて <SPH-DA09Ⅱ>

フォルダーとWMA/MP3/AACファイルについて

- WMA/MP3/AACファイルを収録したディスク内のイメージは下図のようになります。

1階層　2階層　3階層

- 本機はWMA/MP3/AACファイルが記録されたDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM(CD-ROMモードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応)の再生に対応しています。
- ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i(MP3 interactive)フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- 再生できるフォルダー数の合計は、最大700です。
- 再生できるファイル数の合計は、最大3 500です。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子(.wma、.mp3、.m4a)を含め、全角で32文字、半角で64文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で32文字、半角で64文字までです。
- 拡張フォーマット(Romeo)に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から28文字、半角では先頭から56文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- WMA/MP3/AACファイルを含まないフォルダーは認識しません(フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。

WMAとは?

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。

WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードできます。

メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できるWMAファイルについて

メモ

- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生できます。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- WMA Tagのalbum(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は8 kHz～48 kHzです。
- 対応ビットレートは48 kbps～320 kbpsです。VBRに対応しています。
- デジタル著作権管理(DRM)で保護されたファイルは再生できません。すべてのファイルがDRMで保護されている場合、本機では再生できません。
- 以下形式には対応していません。
  - ・Windows Media Audio 9 Professional(5.1ch)
  - ・Windows Media Audio 9 Lossless(可逆圧縮)
  - ・Windows Media Audio 9 Voice

MP3とは?

MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて

メモ

- MP3ファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。

- ID3 Tagのalbum(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- 対応可能なID3 Tagのバージョンは1.0,1.1,2.2,2.3です。なお、ID3 TagのVer.1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver.2.Xが優先されます。
- 再生可能なMP3ファイルの対応サンプリング周波数は、8 kHz～48 kHzです。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは8 kbps～320 kbpsです。VBRに対応しています。なお、VBRの場合、正確な再生時間が表示されない場合があります。また、ソース切り換えを行った際に、再生開始位置がずれる場合があります。

AACとは？

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACファイルについて

メモ

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.m4a）を付けてください。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子（.m4a）が付いているファイルをAACファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子（.m4a）を付けないでください。**
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- AAC Tagのalbum（ディスクタイトルとして表示）、title（トラックタイトルとして表示）、artist（アーティストとして表示）の表示に対応しています。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は8 kHz ～ 44.1 kHzです。
- 対応ステレオビットレートは8 kbps ～ 320 kbpsです。
- この製品は、以下の形式には対応していません。
  ＊ Apple Lossless

付録

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	ヒューズが切れている。	切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていない。	付属の取付説明書をよく読み、接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
	周囲の温度が極度に低いまたは高い。	本機には、使用温度範囲（－10 ℃～＋60 ℃）があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）にご相談ください。（→裏表紙）
画面に何も表示されない。	映像OFF状態になっている。	映像OFFを解除してください。*（→P8）*
画面にタッチしても、しばらくすると黒い画面またはバックカメラ映像が表示される。	リアビューモード状態になっている。	リアビューモードを解除してください。*→「バックカメラを使う」（P64）*
映像が出ない。 画質調整ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
液晶画面が暗い･見にくい。	「明るさ」の調整が適切ではない。	「明るさ」を調整してください。*→「画質調整をする」（P72）*
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	－
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	周囲の温度が低い。	周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーです。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
	設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーです。	設定や接続状態を確認してください。
テレビ（SPH-DA09 Ⅱのみ）、iPodビデオなどの映像が見られない。	走行中である。	本機は、安全のため走行中にテレビやiPodビデオなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
	パーキングブレーキコードを接続していない。	パーキングブレーキコードを接続してください。

症状	原因	処置
音が出ない。	オーディオの音量が0になっている。	音量を調整してください。
	接続中のAndroidの音量が0になっている。	接続中のAndroidの音量を調整してください。
	接続が間違っている。	付属の取付説明書をよく読み、接続を確認してください。
ディスクが入らない。（SPH-DA09 Ⅱのみ）	すでにディスクが挿入されている。	挿入済みのディスクを取り出してください。
前／後／左／右のスピーカーから音が出ない。	前後左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整・設定してください。→*「Fader ／ Balance設定」（P65）*
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	－
スマートフォン端末が充電されない。	スマートフォン端末を充電しながら長時間使用したため、端末の温度が上がり、充電が停止している。	スマートフォンをケーブルから外し、端末の温度が冷めるまでお待ちください。
	充電よりも電池の消費量が多い。	スマートフォンの不要なサービスを停止すると改善される場合があります。
iPodソースが選択できない。	設定メニューのHDMI接続機器設定で「iPhone」が選択されている。	「Android」を選択してください。→*「HDMI接続機器設定をする」（P71）*

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオ受信中に"ジージー、ザーザー" という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→*「放送局を登録する」（P21）*
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→*「放送局を手動で登録する」（P22）*

テレビ <SPH-DA09 II>

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
メッセージが表示され、視聴ができない。	本機が対応しない放送を視聴しようとしている。	本機は、以下の放送には対応していません。 • 番組単位で購入できる有料放送（ペイ・パー・ビュー） • 双方向通信を使うデータ放送 対応している放送に切り換えてください。
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「チャンネルスキャンをしてください」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときや「視聴者設定クリア」をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。→*「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」（P26）*
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局（チャンネル）に切り換えてみてください。DTV設定により、受信可能な中継局を自動的に探して切り換えることができます。→*「オート放送局サーチ設定」（P34）*
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。ワンセグ放送が受信可能な場合は、**サービス切換**で切り換えられます。→*「サービスを切り換える」（P32）*
	車両に電波シールドガラスが使われている。	外付けの地上デジタルTV用アンテナを使用してください。
データ放送画面に切り換えられない。映像切換、音声切換、字幕切換、音声多重のタッチキーが薄く表示されていて、切り換えられない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換えるときは、**サービス切換**で切り換えられます。→*「サービスを切り換える」（P32）*

CD/ROM（WMA/MP3/AAC）<SPH-DA09 II>

症状	原因	処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。→「再生できるディスクの種類」(P82)
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください（WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください）。
聞きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

DVD-V/VR <SPH-DA09Ⅱ>

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。→*「再生できるディスクの種類」(P82)*
	ファイナライズされていないディスクを挿入している。	ファイナライズされたディスクを挿入してください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください→*「オートプレイ」(P54)*
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。→*「オートプレイ」(P54)*
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→*「視聴制限レベル」(P54)*
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。（ディスクによって入っている場合があります。）	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります（故障ではありません）。
🚫（禁止マーク）が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■（再生停止）にタッチしてから、もう一度再生してください。

iPod

症状	原因	処置
接続できない。	iPod用接続ケーブルが正しく接続されていない。	付属の取付説明書をよく読み、接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
	設定メニューのHDMI接続機器設定で「iPhone」が選択されている。	「Android」を選択してください。*→「HDMI接続機器設定をする」（P71）*
ビデオが再生できない。	接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。	ビデオ機能に対応したiPodでないと、ビデオはご覧になれません。

ハンズフリー

症状	原因	処置
Bluetoothを使ってスマートフォンと接続できない。	Bluetooth機器登録をしていない。	接続したいスマートフォンを本機に機器登録してください。*→「スマートフォンを登録する」（P77）*
	接続するスマートフォンを変えた。	接続したいスマートフォンに切り換えてください。*→「スマートフォンを切り換える」（P79）*

エラーメッセージと対処方法

共通項目

エラーメッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。 この機能は走行中利用できません。	走行規制のかかった操作を行おうとした。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
AMP ERROR	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。 エンジンスイッチをOFF⇒ONしてもメッセージが消えない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

テレビ

エラーメッセージ	原因	処置
DTVで高温を検出しました。保護のため停止中です。	内部温度が高くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	電波状況の良い場所で、チャンネルスキャンを行ってください。→*「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」（P26）*
アンテナ接続エラーの可能性があります。	地上デジタルTVのアンテナに不具合がある。	付属の取付説明書をよく読み、地上デジタルTVのアンテナ接続が正しく行われているか確認してください。

索引

用語索引

五十音順

あ行

明るさ 72
アプリケーション 15
アングル切換（DVDビデオ） 46
暗証番号 54
イコライザーカーブ 66
イベントリレー 33, 34
色合い 72
色温度 72
色の濃さ 72
映像OFF 8, 12
映像切換（テレビ） 30
映像信号設定 70, 72
エコー （残響音） 60
お知らせメッセージ 31
オーディオ設定 9, 65
オーディオブック 59
オートプレイ 54
オート放送局サーチ 33, 34
オールリセット 75
音楽CD 37
音質設定 65
音声切換（テレビ） 30
音声言語
　DVD-VR 51
　DVDビデオ 46
音声出力
　DVD-VR 51
　DVDビデオ 46
音声多重 30

か行

回転速度計 75
画質調整 70, 72
カスタムメニュー 9
壁紙 70, 73
カメラ極性設定 70, 72
カレンダー 14
機能設定
　DVD 52
　テレビ 33
基本音声 52, 53
基本字幕 52
距離学習リセット 75
切り換え（スマートフォン） 79
緊急警報放送 33, 35
禁止マーク（DVD） 83
傾斜計 75
言語コード表 55
交通情報 23
コピーガード機能付きCD 82
コマ送り再生
　DVD-VR 50
　DVDビデオ 44
コントラスト 72
コントロールバー 12
コントロールパネル（テレビ） 24

さ行

サウンドレトリバー
　ROM 41
　音楽CD 38
削除（スマートフォン） 79
サービス切換 32
サービスリスト 32
サンプリング周波数 86
自機検出 79
自機名称 80
時刻 14
時刻表示 73
システム設定 10, 70
システムリセット 70, 73
視聴者設定クリア 33, 36
視聴制限レベル 52, 54
自動応答 60
自動接続 79
字幕切換（テレビ） 29
字幕言語
　DVD-VR 51
　DVDビデオ 46
ジャケット画像 56
車速パルス 74
シャッフル再生 59
ジャンル検索（テレビ） 27
十字パネルタッチキー （データ放送） 29
シンク切換 33, 34
数字パネルタッチキー （データ放送） 29

付録

スマートフォン 60, 76
スロー再生
　DVD-VR 50
　DVDビデオ 45
設定メニュー 9
前後G 75
センサー学習状況 70, 74
センサーリセット 75
操作タッチキー
　DVD-VR 48
　DVDビデオ 42
測位状態 74

た行

タイトル 84
タイトルスクロール 70, 71
タイムバーサーチ再生
　DVD-VR 51
　DVDビデオ 45
　iPod 59
　ROM 40
　音楽CD 38
ダイレクトサーチ（DVDビデオ） 43
ダイレクトタッチ（DVDビデオ） 43
地域 33, 35
着信音 61
チャプター 84
通話中メニュー 63
ディスクメニュー（DVDビデオ） 43
ディマー 72
デジタル著作権管理（DRM） 86
データ放送 28, 29
テレビ 24
テレビアスペクト 52, 53
電源電圧 74
電話
　受けかた 60
　かけかた 61
電話帳 61
登録
　スマートフォン 77
　テレビ放送局・自動 26
　テレビ放送局・手動 26
　ラジオ放送局・自動 21
　ラジオ放送局・手動 22
特別接続機器 78
時計 14
トラック 84
取り付け位置 74
取り付け状態 70, 74

は行

ハイビジョン 83
パケットライト 85
バージョン情報 31
パスキー 80
バックカメラ 64
バック信号 74
発着信履歴 62
パレンタルロック 52
番組情報 28
番組内容 28
番組表 26
番組表表示 33, 36
番組名称情報取得 33, 36
パンスキャン 53
ハンズフリー 60
バンド 21
ビットレート
　AAC 87
　MP3 86
　WMA 86
ビデオ設定 9
ビデオレコーディングフォーマット
　（VRモード） 82
ファイナライズ 82
ファクトリーカーブ 66
ブックマーク 47
プリセットダイヤル 62
プリセットメモリー（テレビ） 26
プリセットリスト（ラジオ） 21
フリック 7
放送局選択（ラジオ） 70, 75
放送局名（ラジオ） 75
補正（イコライザー） 67

ま行

マーク（DVD） 83
マルチアングル 46
マルチアングル（DVD機能設定） 52, 53
マルチ音声 52
　DVD-VR 51
　DVDビデオ 46
マルチ言語字幕 52

マルチ字幕
　DVD-VR　51
　DVDビデオ　46
マルチセッション　85
メニュー言語　52, 53
文字スーパー表示　33, 34

や行

郵便番号　33, 35

ら行

ラジオ　21
ランダム再生
　ROM　40
　音楽CD　38
リアスピーカー設定　70
リアビューモード　64
リージョン番号　82, 83
リストバー　7
リターン再生（DVDビデオ）　45
リニアPCM
　DVD-VR　51
　DVDビデオ　46
リバース連動　64
リピート再生
　DVD-VR　50
　DVDビデオ　45
　iPod　59
　ROM　40
　音楽CD　38
リンクサーチ　58
レターボックス　53

わ行

ワイドモード
　DVD-VR　49
　DVDビデオ　44
　iPodビデオ　58
　テレビ　30

数字・アルファベット順・記号

数字

4チューナー　33, 36
12セグ・ワンセグ切換　34
16：9　53

A

AAC
　（Advanced Audio Coding）　39, 85, 87
AM　21
Apple Lossless　87
Auto（電話・自動応答）　60
AVCHD → ハイビジョン　83
AVCREC → ハイビジョン　83

B

B-CASカード　31
Balance　66
Bass Booster　68
Bluetooth
　設定　76
　プロファイル　76
　メモリクリア　70, 71
BSM　21

C

CD　37, 84
CD-EXTRA　82
CD-R　85
CD-ROM　85
CD-RW　85
CD-RWディスク　82
CHAPTER REPEAT　45, 50
Copy Control CD　82

D

d → データ放送　28
DDCD（Double Density CD）　82
DISC REPEAT　38, 40, 45, 50
DRM → デジタル著作権管理　86
DTV　24
DTV設定　33
DualDisc　83
DVD-R　85
DVD-R/RWディスク　82
DVD-RW　85
DVD-VR　48

DVDオーディオディスク 82
DVDオートプレイ 52, 54
DVDビデオ 42, 84
DVDビデオディスク 82

F

Fader／Balance 65
Flat 66
FM 21
FOLDER REPEAT 40
Full 30, 44, 49, 58

G

GPSアンテナ 74
Graphic EQ 66

H

HFP（Hands Free Profile） 76
High Pass Filter 69
HOMEメニュー 8
HSP（Headset Profile） 76

I

ICカードテスト 31
iPod 56
ISO9660 85
iTunes 87

J

Joliet 85

L

Loudness 67

M

MIX 12
MIX音声レベル 70, 73
MP3
（MPEG Audio Layer 3） 39, 85, 86
MP3i 85
MP3 PRO 85
MPEG2 87
MPEG4 87

N

Natural 66
Normal 30, 44, 49, 58
NTSC 82

O

OPP（Object Push Profile） 76

P

PBAP（Phone Book Access Profile） 76
Phase 68
Powerful 66

R

Retern 45
ROM 39
Romeo 85

S

S.Bass 66
S.Rtrv → サウンドレトリバー
ROM 41
音楽CD 38
SHUFFLE 59
Source Level Adjuster 69
SPP（Serial Port Profile） 76
Subwoofer 67

T

Tag
AAC 87
ID3 86
WMA 86
TITLE REPEAT 45, 50
Tone（電話・着信音） 61
TRACK REPEAT 38, 40

V

Vocal 66

W

Windows Media Audio 9 Lossless 86
Windows Media Audio 9 Professional 86
Windows Media Audio 9 Voice 86
WMA (Windows Media Audio) 39, 85

Z

Zoom 30, 44, 49, 58

記号

× 6
← 6

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まる フリーコール および フリーコールは、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30 ～12：00、 13：00 ～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話：フリーコール **0120-944-111**　【一般電話】**044-572-8101**　FAX：**044-572-8103**

インターネットホームページ　*http://pioneer.jp/support/*

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『**故障かな?と思ったら**』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口(沖縄県を除く全国)

受付時間　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30 ～12：00、 13：00 ～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：フリーコール **0120-5-81028**（ゴーパイオニア）　【一般電話】**044-572-8100**　FAX：フリーコール **0120-5-81029**

インターネットホームページ　*http://pioneer.jp/support/repair/*

※家庭用オーディオ／ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店(沖縄県のみ)

受付時間　月曜～金曜　9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【一般電話】**098-987-1120**　FAX：**098-987-1121**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30 ～12：00、 13：00 ～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：フリーコール **0120-5-81095**　【一般電話】**044-572-8107**　FAX：フリーコール **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.045

パイオニア株式会社
〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

< KFWZF > < CWW6651-A >